

令和4年度 倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会

日時 令和4年11月14日(月)午後2時00分～

場所 倉吉市役所本庁舎3階大会議室

次 第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 会長・副会長選任
- 4 会長あいさつ
- 5 定住自立圏構想合同勉強会実施報告について
- 6 鳥取県中部定住自立圏共生ビジョンの取組状況について
- 7 鳥取県中部定住自立圏共生ビジョンの一部変更について
- 8 その他
- 9 閉会

(配布資料)

- 資料1 定住自立圏構想合同勉強会実施報告会について(当日配布)
- 資料2 鳥取県中部の地域の未来予測について(当日配布)
- 資料3 鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和3年度取組の成果】
- 資料4 鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和3年度決算額一覧】
- 資料5 鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和4年度予算額一覧】
- 資料6 定住自立圏共生ビジョン掲載事業進捗管理シート
- 資料7 鳥取県中部定住自立圏共生ビジョンの一部変更(案)について



定住自立圏構想合同勉強会実施報告

令和4年11月14日（月）

倉吉市総務部企画課
企画員 木藤隆親

趣旨

- 令和2年国勢調査で鳥取県中部圏域の人口減少が一層加速していることが確認された。特に生産年齢人口の減少が大きい。
- このままの状況が続くと、自立に必要な経済基盤が失われ、圏域全体の魅力が低下し、人口減少に一層拍車がかかる悪循環に陥る。
- 国においては、第32次地方制度調査会答申（令和2年6月26日）を受け、各市町村がその行政需要や経営資源に関する長期的な変化の見通しの客観的なデータを基に、「地域の未来予測」を行うことを呼び掛けており、分析の手法等について助言がなされている。
- 鳥取県中部圏域が、定住に必要な都市機能と生活機能を持った圏域となるよう、最新データを用い、圏域の課題を分析するとともに、人口減少に歯止めをかける「打ち手」を講じていく必要がある。
- 課題を的確に捉え、適切な打ち手を講じるためには、定住自立圏構成自治体の職員の分析能力及び政策立案能力並びにプレゼンテーション能力が求められることから、合同勉強会を開催するもの。

※第3次鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン（定住自立圏構想合同勉強会の開催事業）において実施

開催状況

【第1回】

日時 令和4年2月1日（火）14:00～15:30

場所 オンライン

内容 各市町から課題を発表（テーマ設定なし）

人口減少をテーマにした発表が多かったことから、次回は人口減少の要因分析を行うこととした。

【第2回】

日時 令和4年4月26日（火）14:00～15:30

場所 倉吉市役所大会議室

内容 各市町から人口減少の要因分析について発表

次回は、考えられる対策について発表することとした。

【第3回】

日時 令和4年7月26日（火）14:00～15:30

場所 倉吉市役所303会議室

内容 各市町から人口減少に歯止めをかける打ち手について発表

地元への愛着を深める対策をさらに検討していくこととした。

「地域の未来予測」勉強会

- 琴浦町、北栄町、湯梨浜町で、中堅職員の政策企画能力の向上を目的に、地域づくりなど各分野における有識者の方を講師に招いた研修会（名称：有隣塾）を開催。
- 有隣塾で、『「地域の未来予測」勉強会』が実施されることとなり、定住自立圏構想合同勉強会と合同で実施することとなった。
- 「地域の未来予測」勉強会は、2040年頃から逆算し、顕在化する諸課題に対応する体制に変化するため、未来を予測した政策提案に必要な視点を学び政策を提案することができる人材を育成することを目的として実施。
- 一般財団法人地域活性化センターの支援を受け、千葉大学の倉阪教授を招いて実施。

● 開催状況

【前期日程】

日時 令和4年9月27日（火）13:30～16:30

場所 倉吉市役所大会議室

内容 倉阪教授から地域の未来予測（1市4町）の説明
1市4町首長意見交換会を実施し、課題共有を行った。

【後期日程】

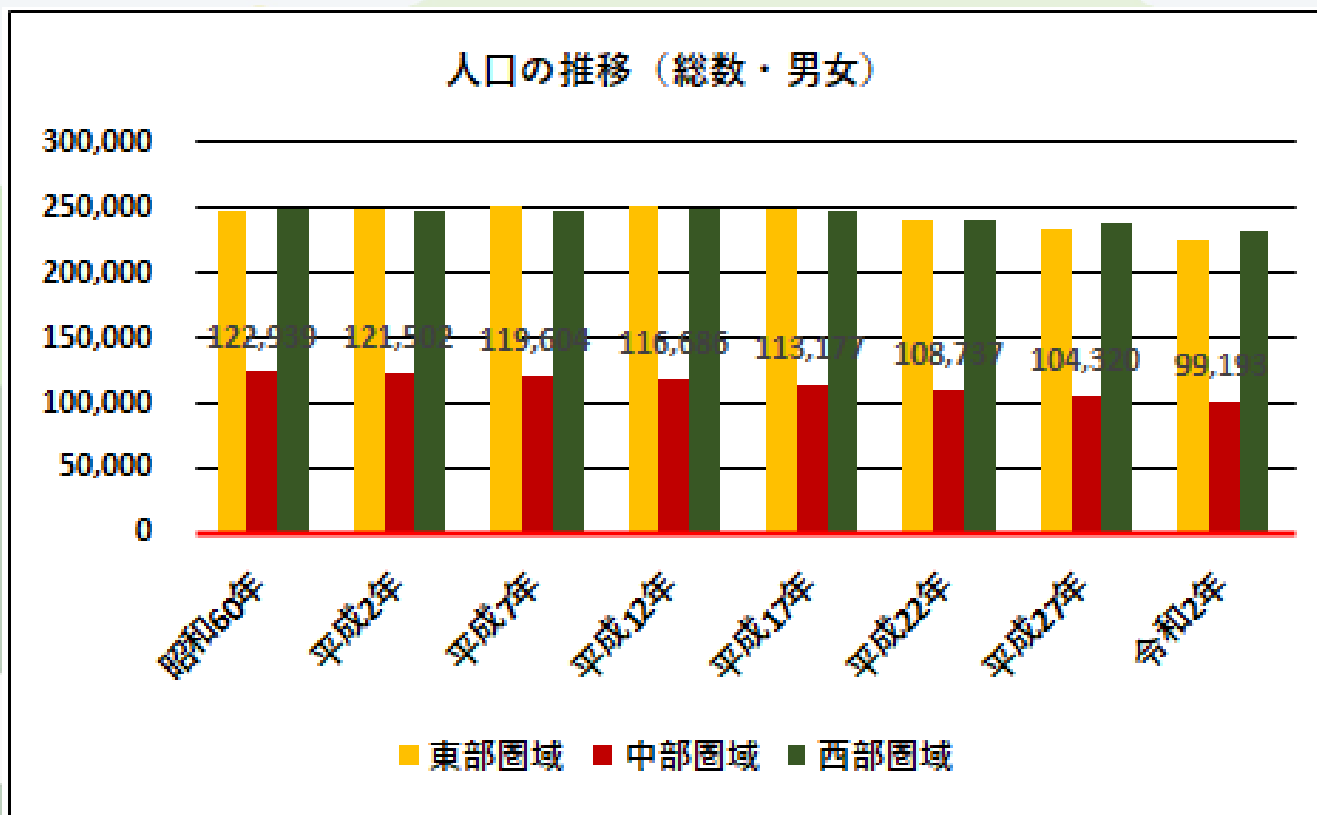
日時 令和4年10月21日（金）14:00～15:30

場所 倉吉市役所302会議室（第2庁舎）

内容 倉阪教授から地域の未来予測（中部地区）の説明
グループワークで課題の洗い出し
→各市町の行政改革担当が継続検討

勉強会概要

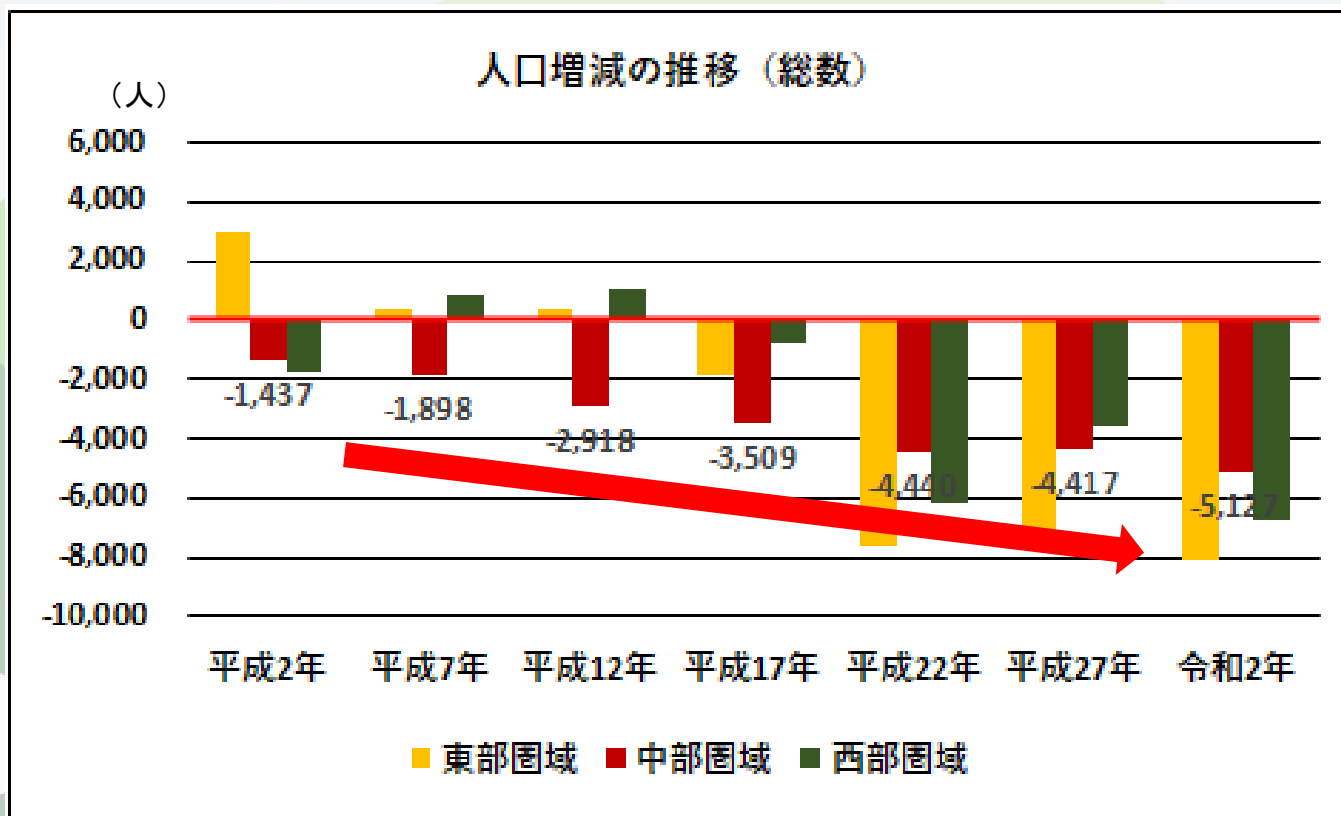
- 鳥取県中部圏域の人口は減少傾向
- 令和2年国勢調査で人口10万人を割り込む



	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
東部圏域	245,876	248,814	249,108	249,385	247,469	239,829	232,610	224,492
中部圏域	122,939	121,502	119,604	116,686	113,177	108,737	104,320	99,193
西部圏域	247,209	245,406	246,217	247,218	246,366	240,101	236,511	229,722

中部圏域の人口増減の推移

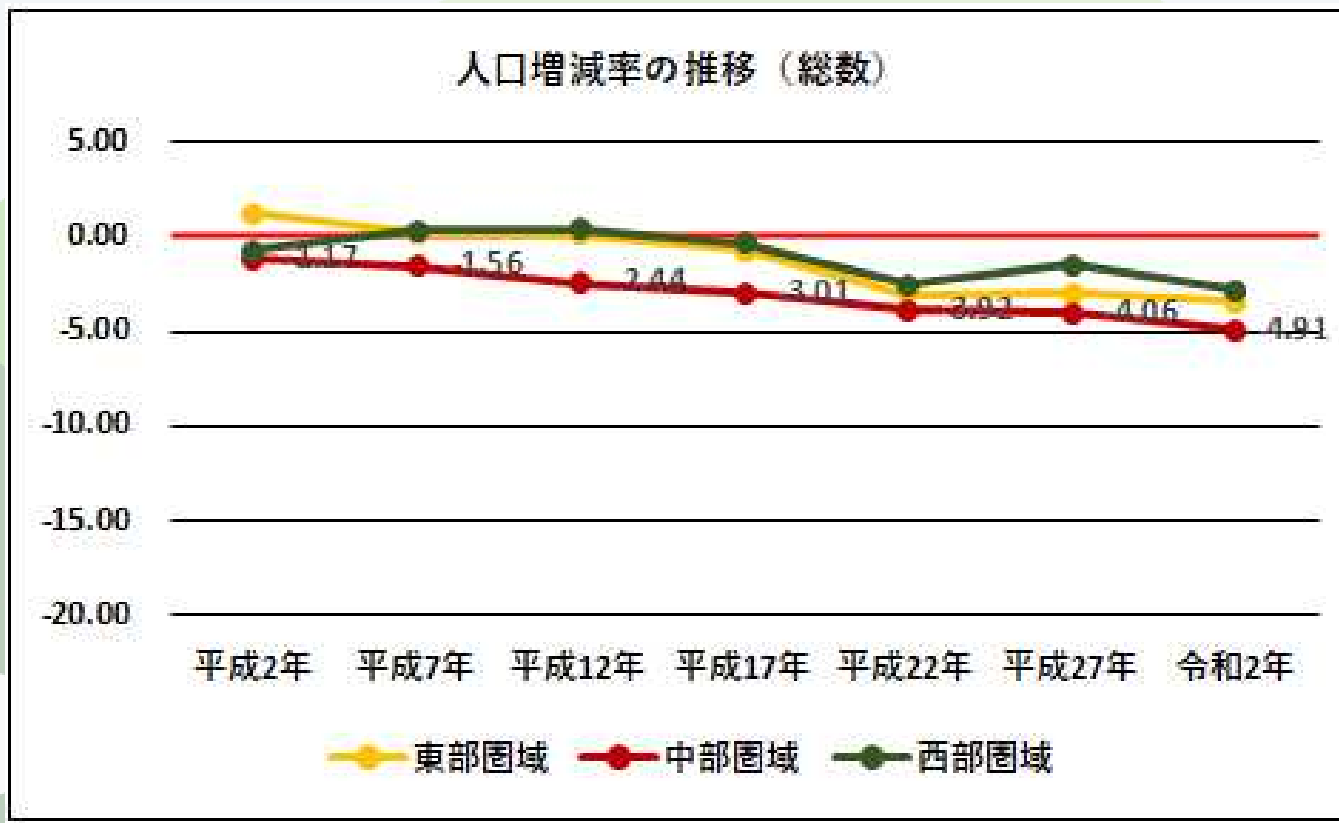
- 平成2～17年の間、東部圏域及び西部圏域は増減を繰り返すが、**中部圏域は一貫して減少**している。



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
東部圏域	2,938	294	277	-1,916	-7,640	-7,219	-8,118
中部圏域	-1,437	-1,898	-2,918	-3,509	-4,440	-4,417	-5,127
西部圏域	-1,803	811	1,001	-852	-6,265	-3,590	-6,789

● これまでの議論

- 中部圏域は、東部圏域・西部圏域よりも人口の減少率が大きい。
- 人口減少は加速している。



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
東部圏域	1.19	0.12	0.11	-0.77	-3.09	-3.01	-3.49
中部圏域	-1.17	-1.56	-2.44	-3.01	-3.92	-4.06	-4.91
西部圏域	-0.73	0.33	0.41	-0.34	-2.54	-1.50	-2.87

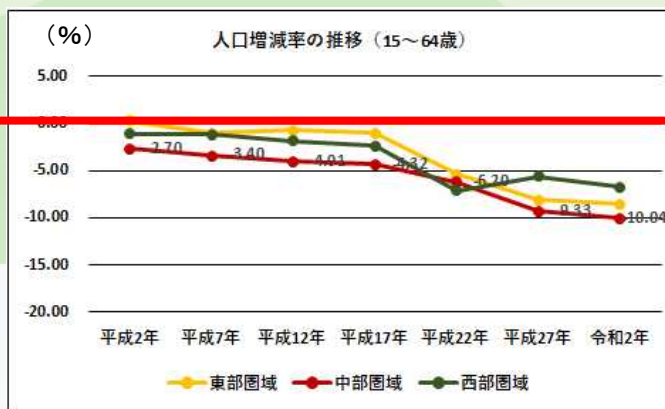
中部圏域の人口増減率の推移

- 3区分人口のいずれの区分も中部圏域の人口減少率が大きい。
- 特に平成27年、令和2年の生産年齢人口の減少率が大きい。

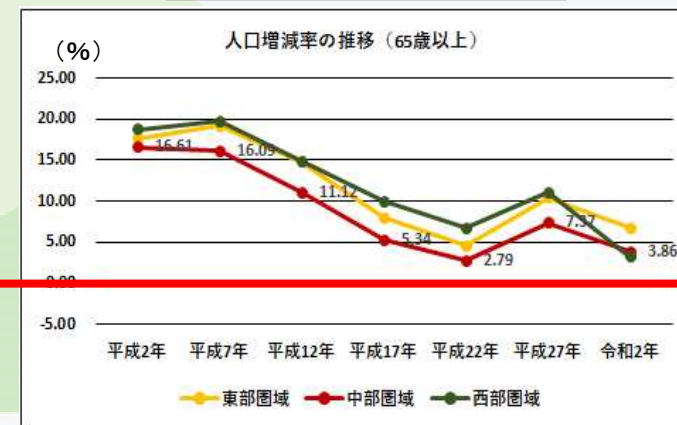
【年少人口】



【生産年齢人口】



【老年人口】



出所：国勢調査

(%)

		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
年少	東部圏域	-6.51	-10.08	-12.24	-11.29	-8.13	-5.92	-8.46
	中部圏域	-9.69	-12.43	-14.17	-11.28	-8.23	-6.00	-7.15
	西部圏域	-12.58	-10.70	-8.71	-6.41	-8.01	-4.79	-6.14
生産年齢	東部圏域	0.24	-1.08	-0.72	-1.05	-5.42	-8.08	-8.55
	中部圏域	-2.70	-3.40	-4.01	-4.32	-6.20	-9.33	-10.04
	西部圏域	-1.10	-1.21	-1.86	-2.37	-7.11	-5.64	-6.71
老年	東部圏域	17.69	19.17	14.77	8.01	4.62	10.44	6.78
	中部圏域	16.61	16.09	11.12	5.34	2.79	7.37	3.86
	西部圏域	18.77	19.73	14.90	10.00	6.80	11.06	3.21

中部圏域の5歳階層別人口の増減率

- 生産年齢の人口増減率の内訳をみると、25歳～34歳の減少率 が大きい。

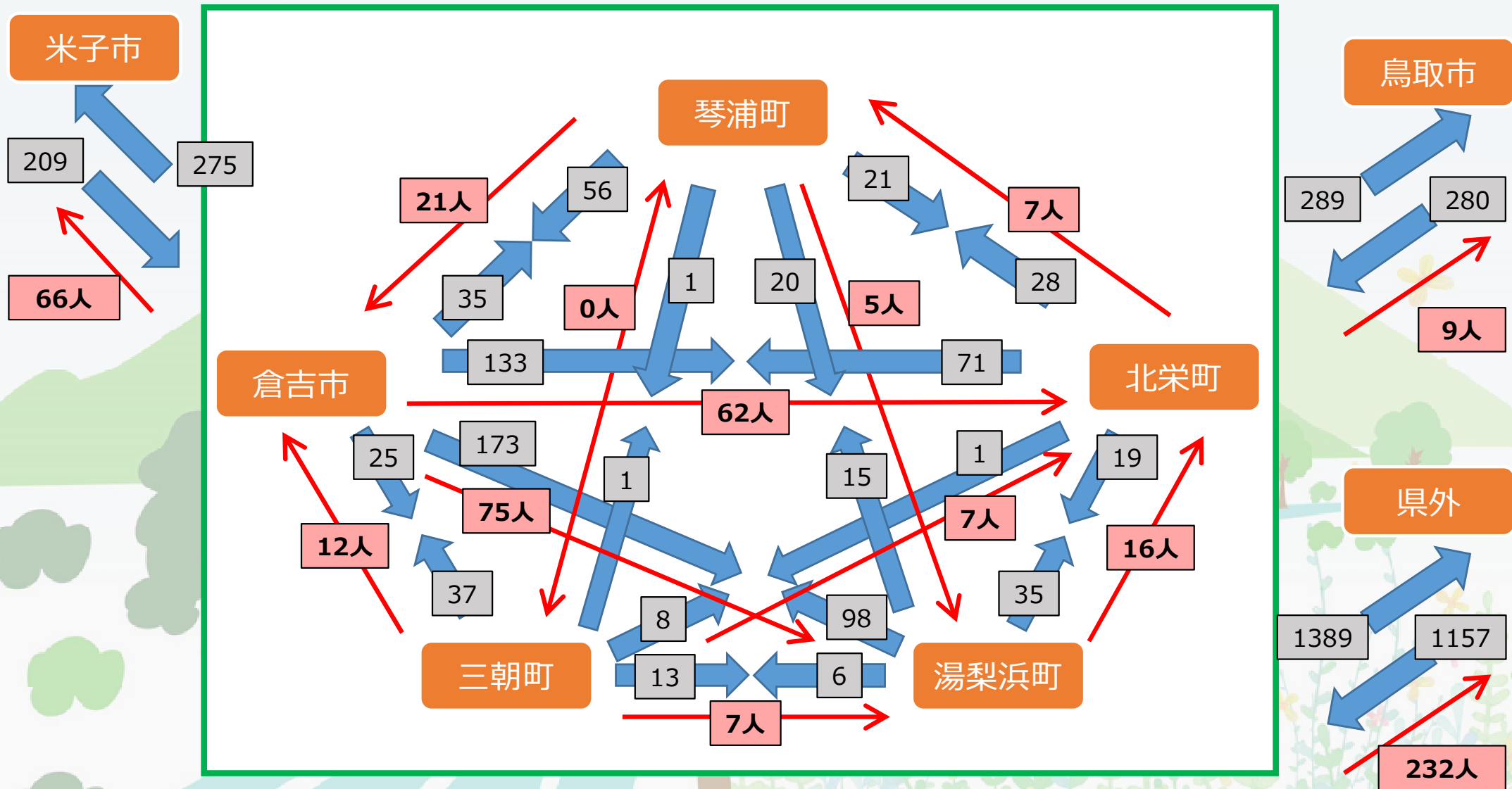
○中部圏域の5歳階層別人口の増減率（15～64歳・男女） (%)

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
15～19歳	12.5	-5.0	-9.4	-16.1	-13.7	-9.7	-6.8
20～24歳	-12.3	22.9	-7.6	-10.3	-22.4	-11.7	-10.7
25～29歳	-16.4	-9.2	20.6	-8.4	-13.4	-18.5	-16.4
30～34歳	-16.6	-14.1	-9.7	17.6	-9.4	-12.7	-18.0
35～39歳	-6.4	-16.1	-14.9	-10.6	17.2	-7.9	-11.9
40～44歳	26.0	-6.2	-15.9	-15.2	-11.1	16.9	-8.0
45～49歳	-0.5	27.3	-5.8	-16.7	-15.0	-10.2	17.3
50～54歳	-17.7	1.0	27.4	-6.8	-15.9	-15.1	-11.4
55～59歳	-4.6	-16.7	0.8	28.1	-7.4	-15.0	-16.3
60～64歳	12.0	-3.4	-15.7	0.8	28.3	-7.3	-15.3

※色セルは団塊世代、団塊Jr世代

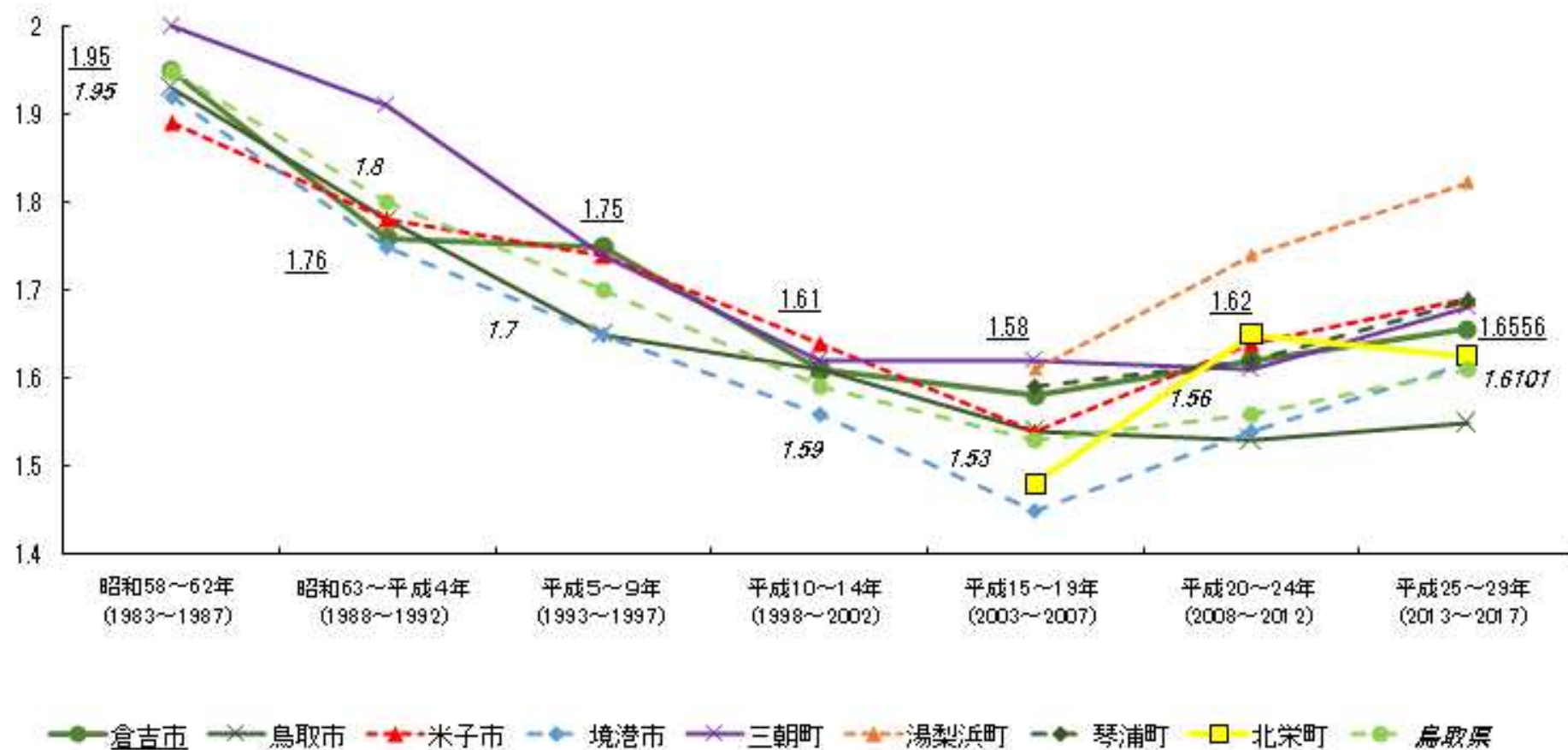
出所：国勢調査

中部圏域の社会増減（令和3年）



合計特殊出生率の推移

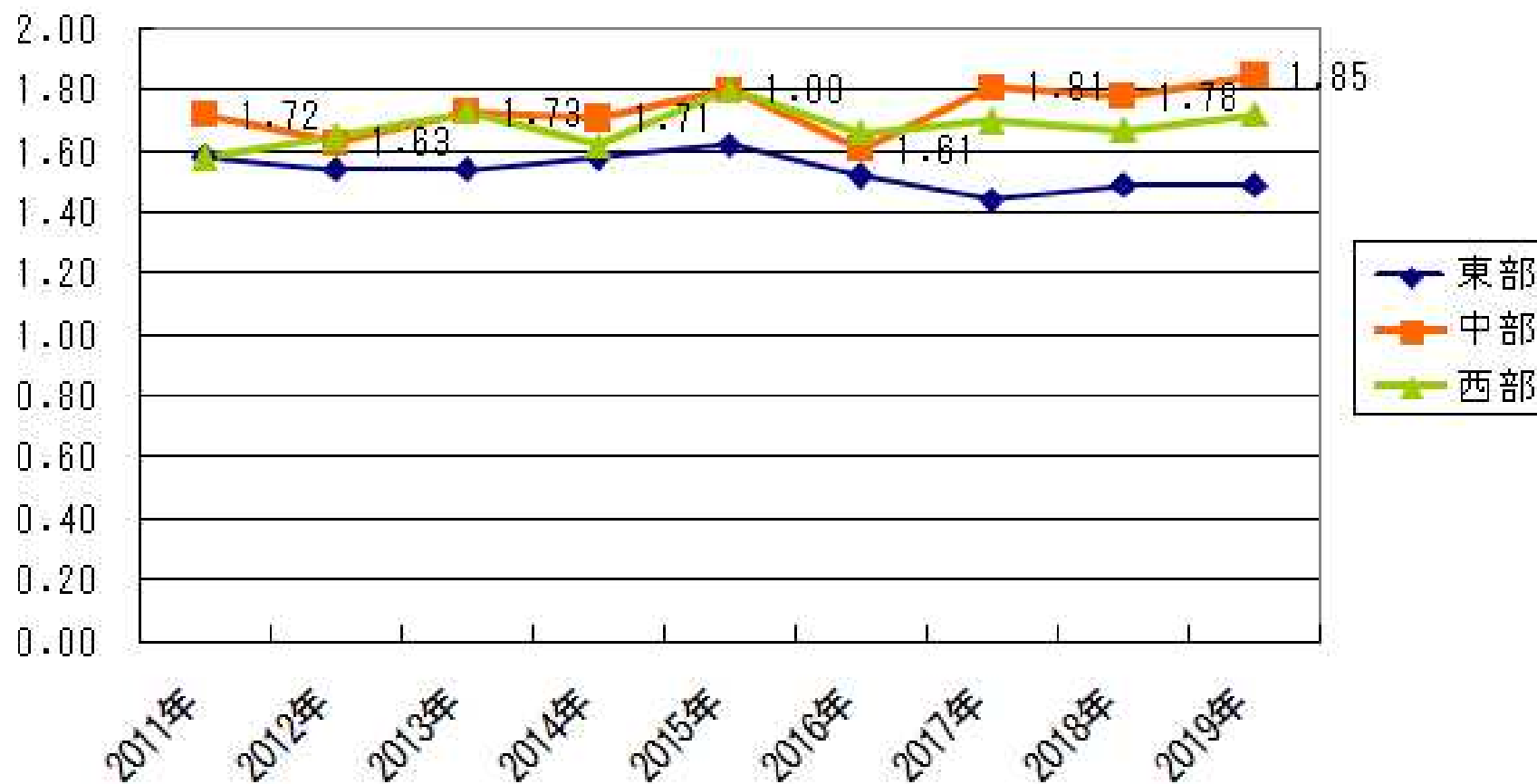
▶ 合計特殊出生率は、平成15～19年を底に上昇傾向



合計特殊出生率の推移

➤ 中部圏域は東部、西部圏域よりも合計特殊出生率が高い

鳥取県東部・中部・西部圏域の合計特殊出生率の推移



合計特殊出生率の分析

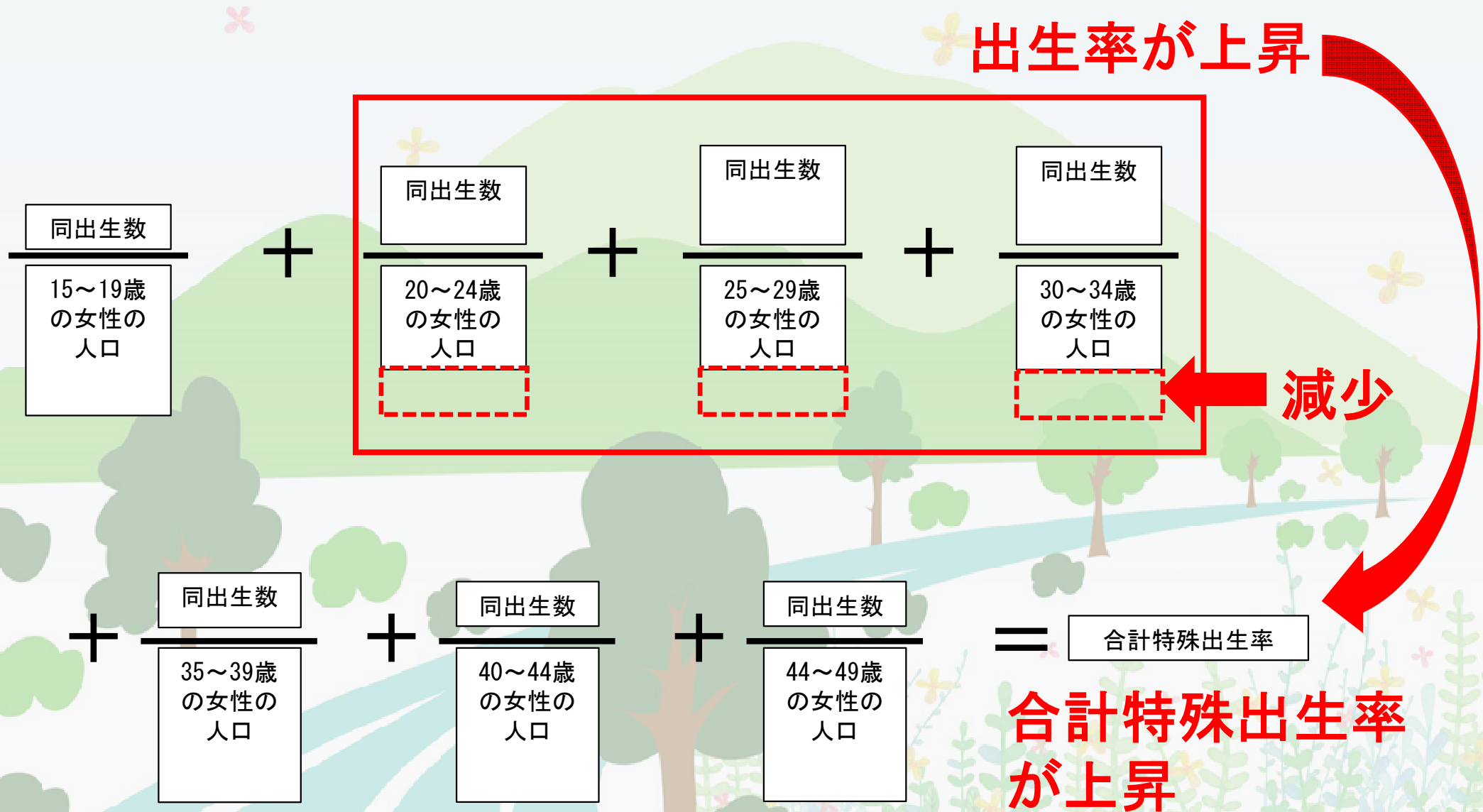
- 20～34歳の年齢層の平成22～27年の減少率が大きく、合計特殊出生率を引き上げている。
- 平成22年以降は、団塊Jr.世代の層が35歳以上になり、20～34歳の年齢層から抜ける。（出生数が多い年齢層（＝20～34歳）の分母が大きく減少→出生率が急上昇→合計特殊出生率を引き上げ）

		(%)						
		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
女性	15～19歳	12.98	-5.39	-7.73	-17.79	-12.04	-12.54	-2.67
	20～24歳	-13.69	15.51	-9.23	-11.44	-23.83	-11.24	-7.18
	25～29歳	-14.99	-10.86	15.88	-7.47	-13.63	-20.15	-15.05
	30～34歳	-14.53	-12.75	-10.65	15.25	-8.62	-14.51	-16.98
	35～39歳	-5.80	-13.73	-13.18	-10.85	13.91	-7.86	-13.55
	40～44歳	23.10	-5.01	-14.39	-12.77	-11.87	13.78	-7.78
	45～49歳	-4.62	23.50	-3.88	-15.02	-12.99	-11.50	13.24

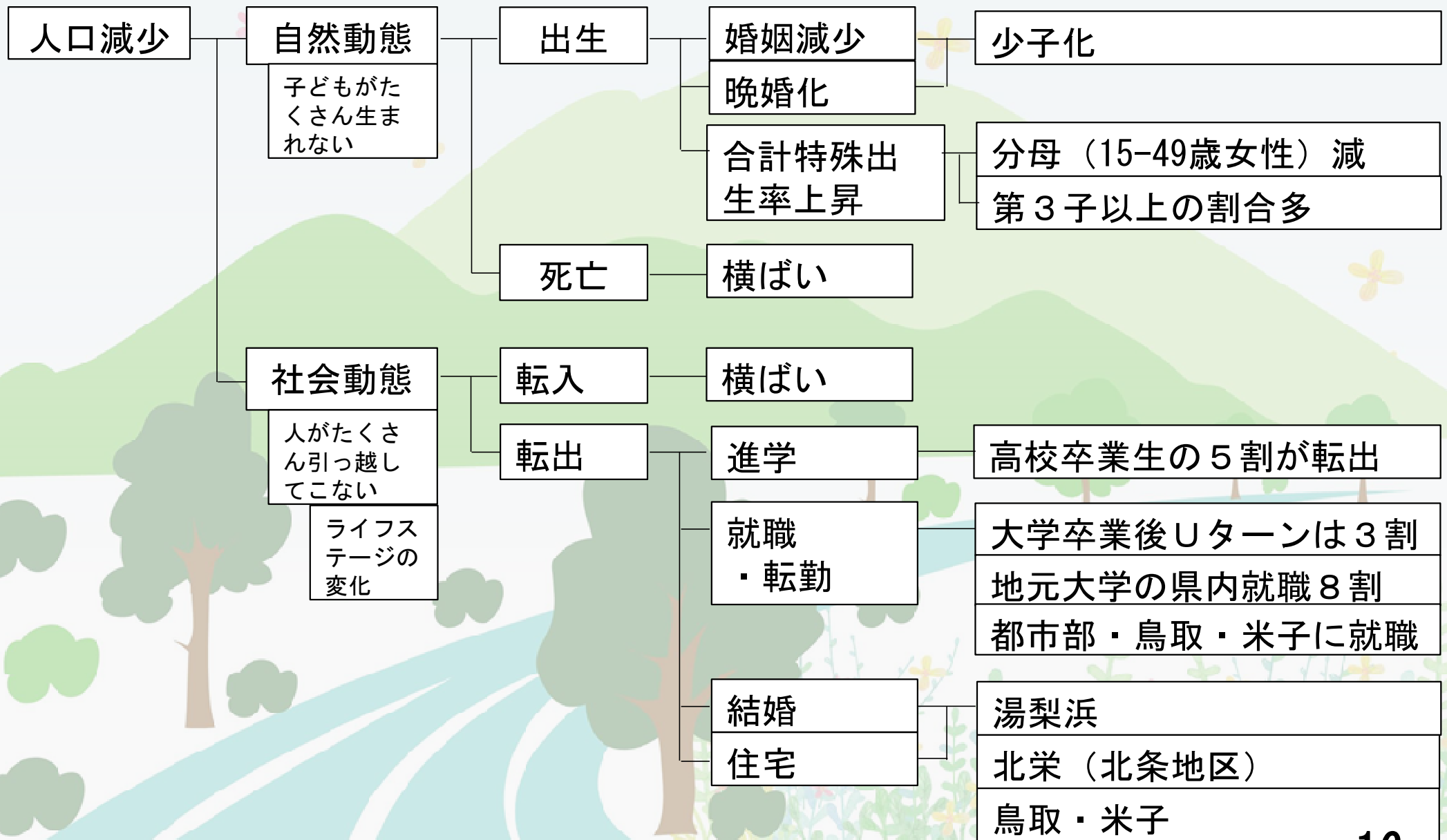
■ …団塊世代、団塊Jr.世代

出所：国勢調査

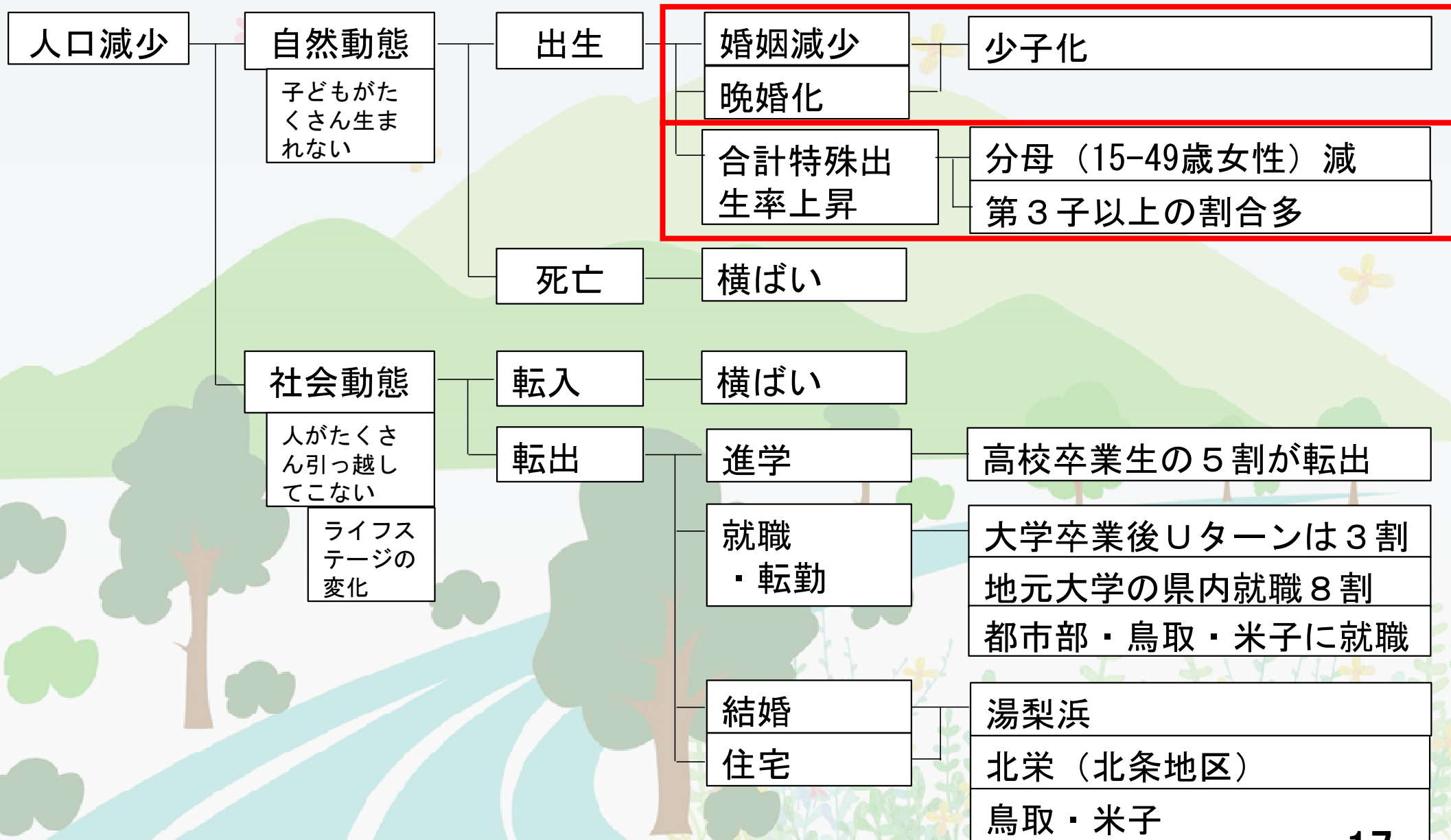
● 合計特殊出生率の分析



● 人口減少の要因分析



● 打ち手の検討



● 自然増減の打ち手 出生

1. 出生減を食い止める

2. 就職・結婚による子育て世代の流出を食い止める

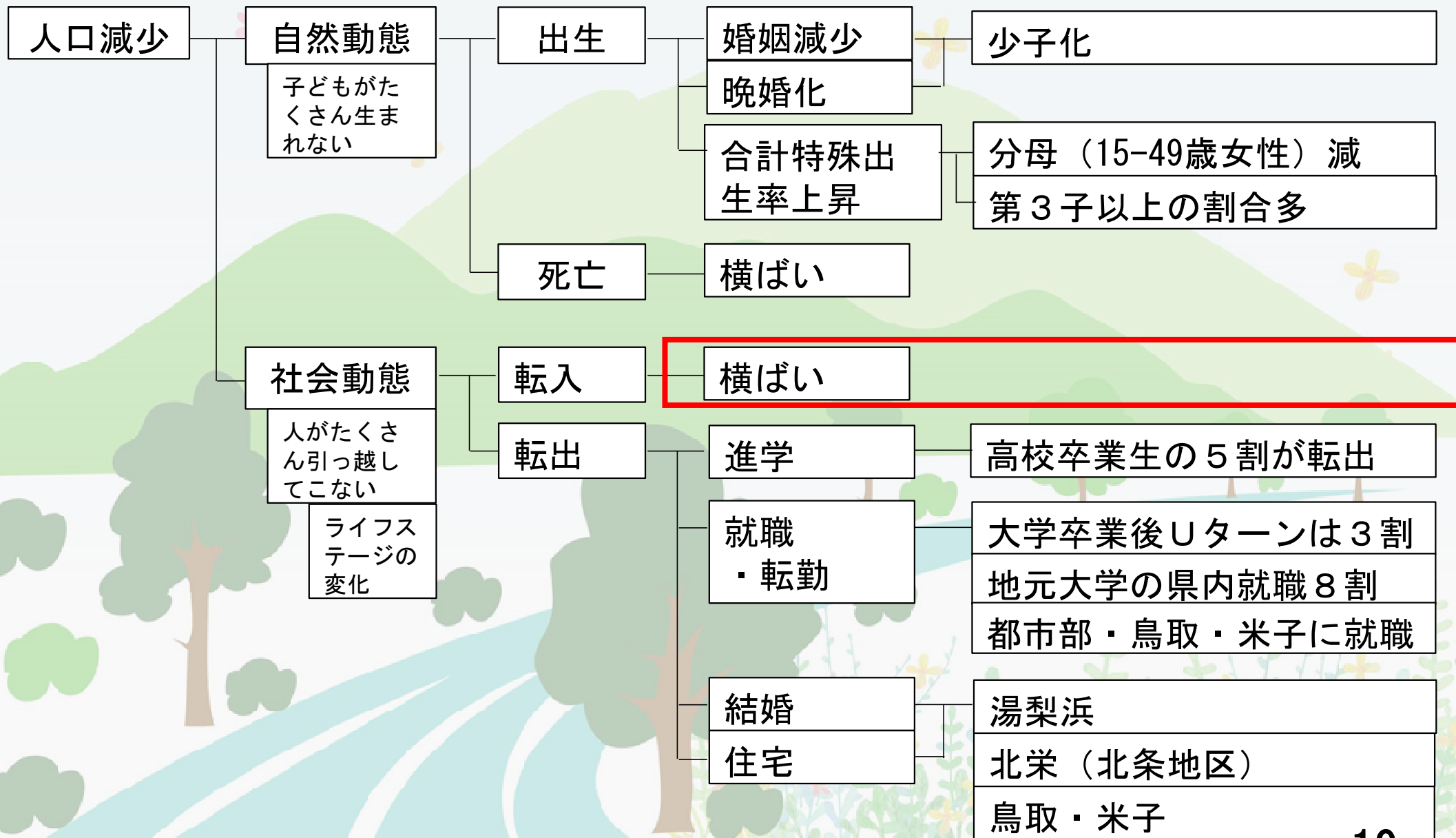
⇒一言で言えば、

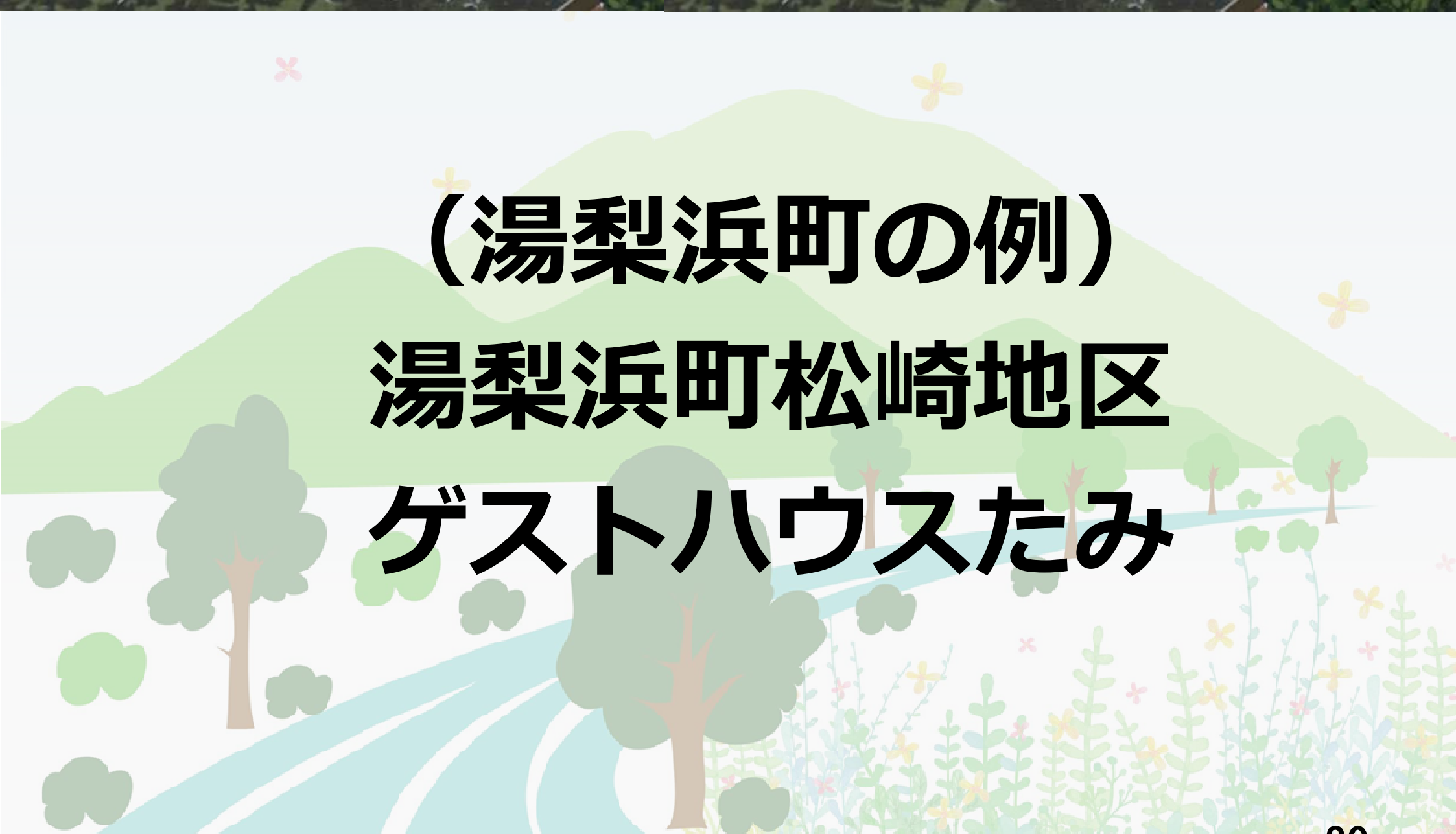
若者が子育てしたくなるまちづくり

婚活支援

子育て負担軽減
インセンティブ

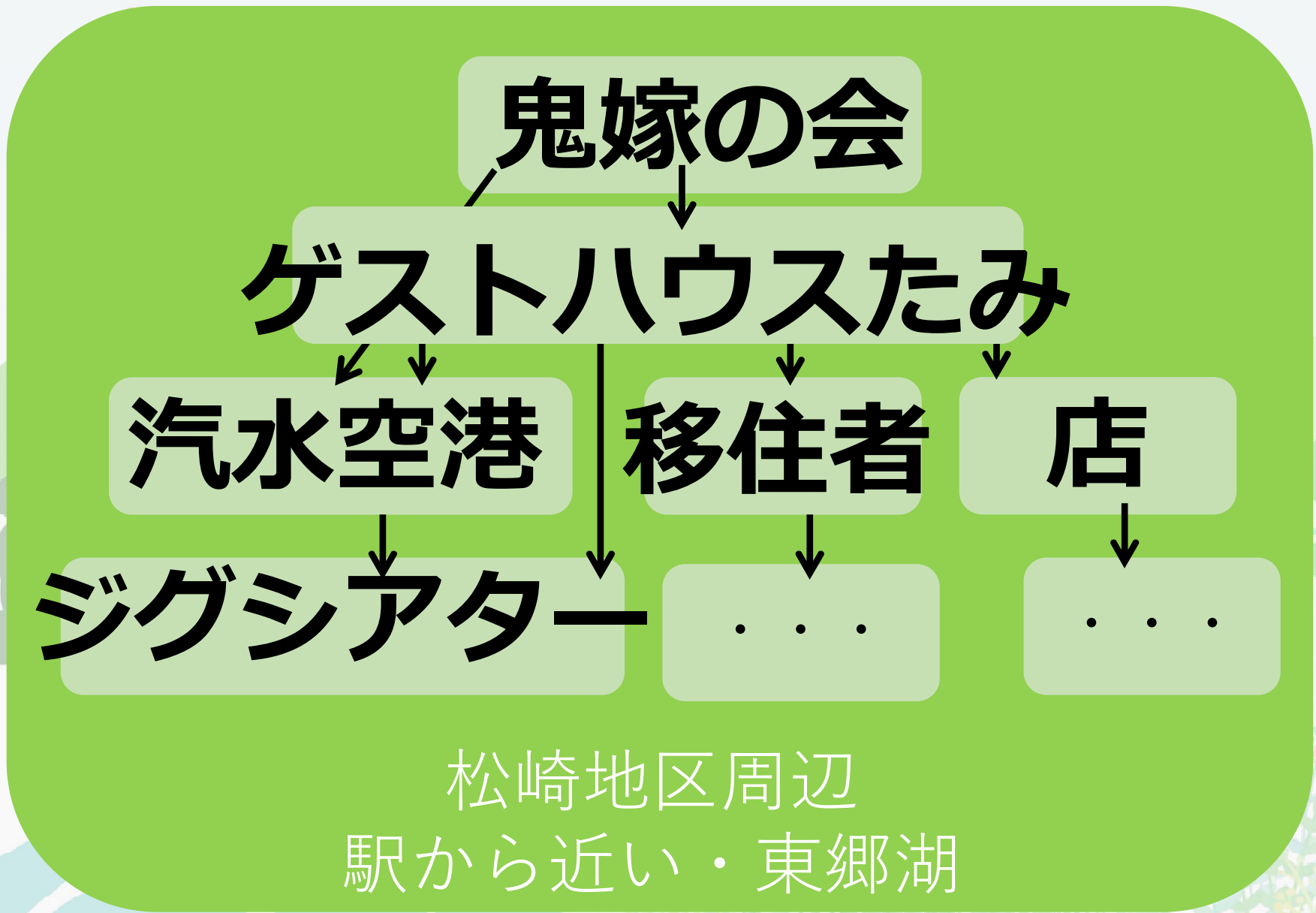
● 打ち手の検討





(湯梨浜町の例)
湯梨浜町松崎地区
ゲストハウスたみ

● 社会増減の打ち手 転入増

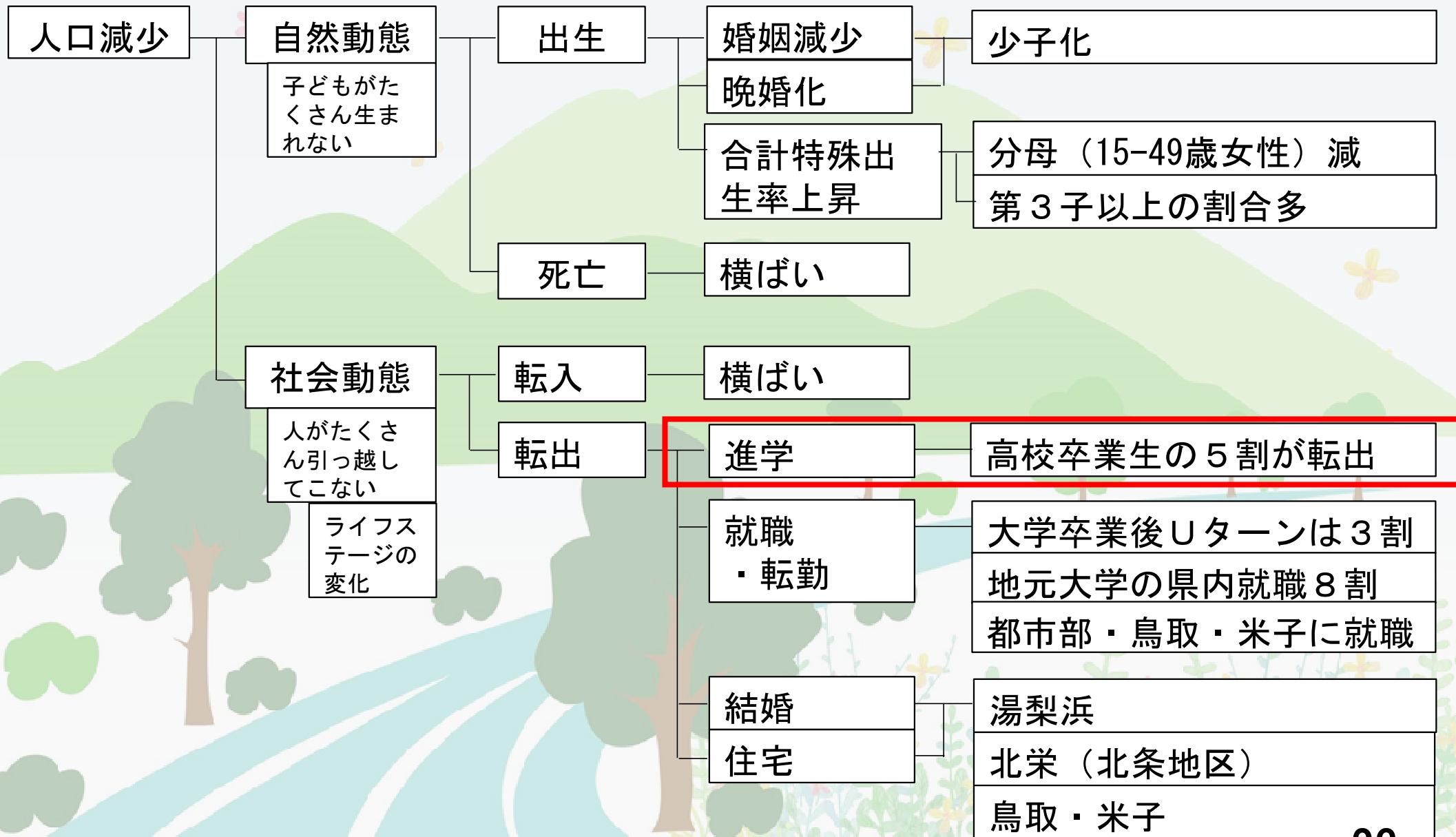


お金自体は決め手ではない
が移住者を受け入れる支援
策はあったほうがよい

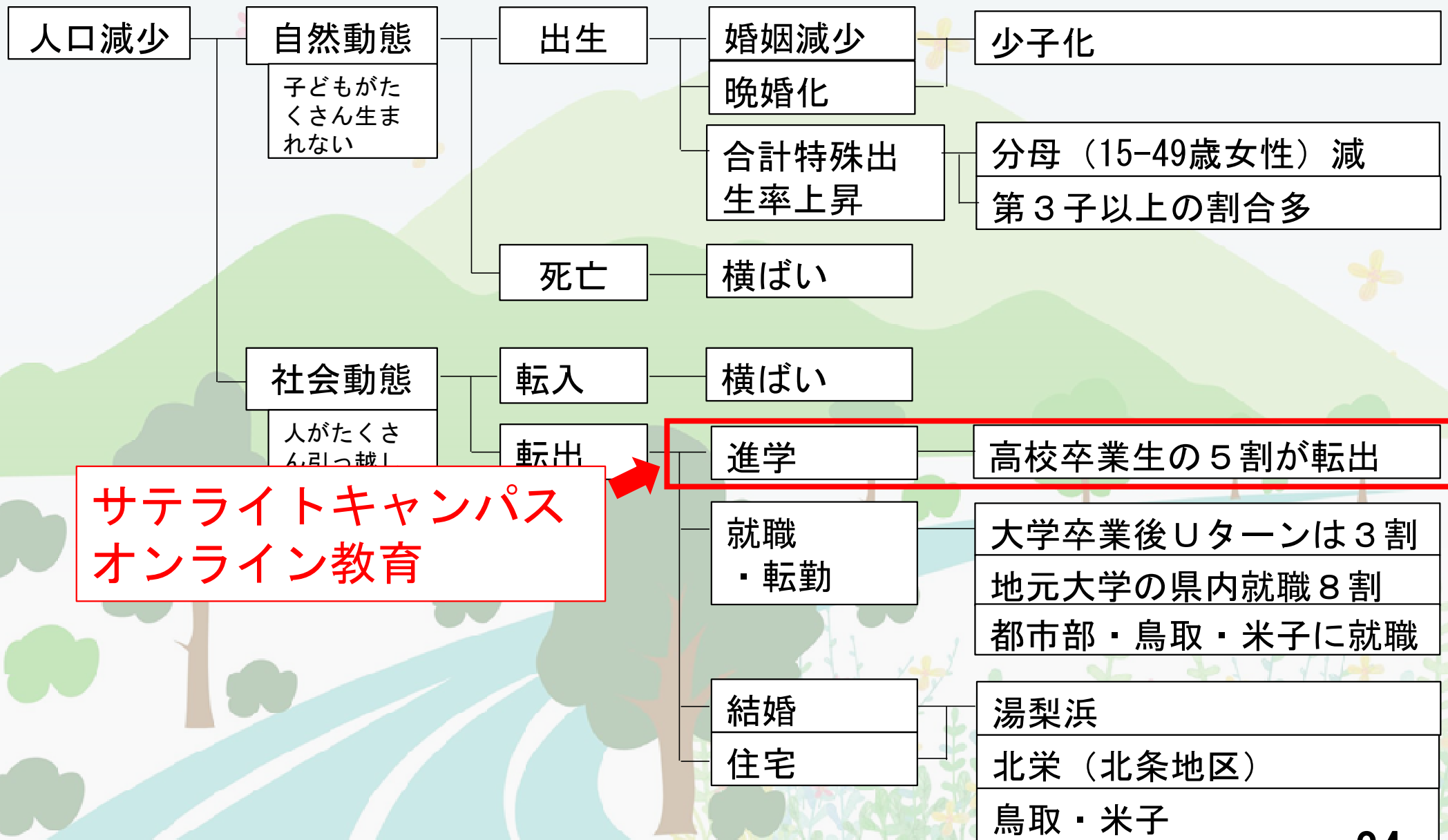
寛容さ、包容力、社交性

やりたいことができる・
受け入れるコミュニティ

● 打ち手の検討

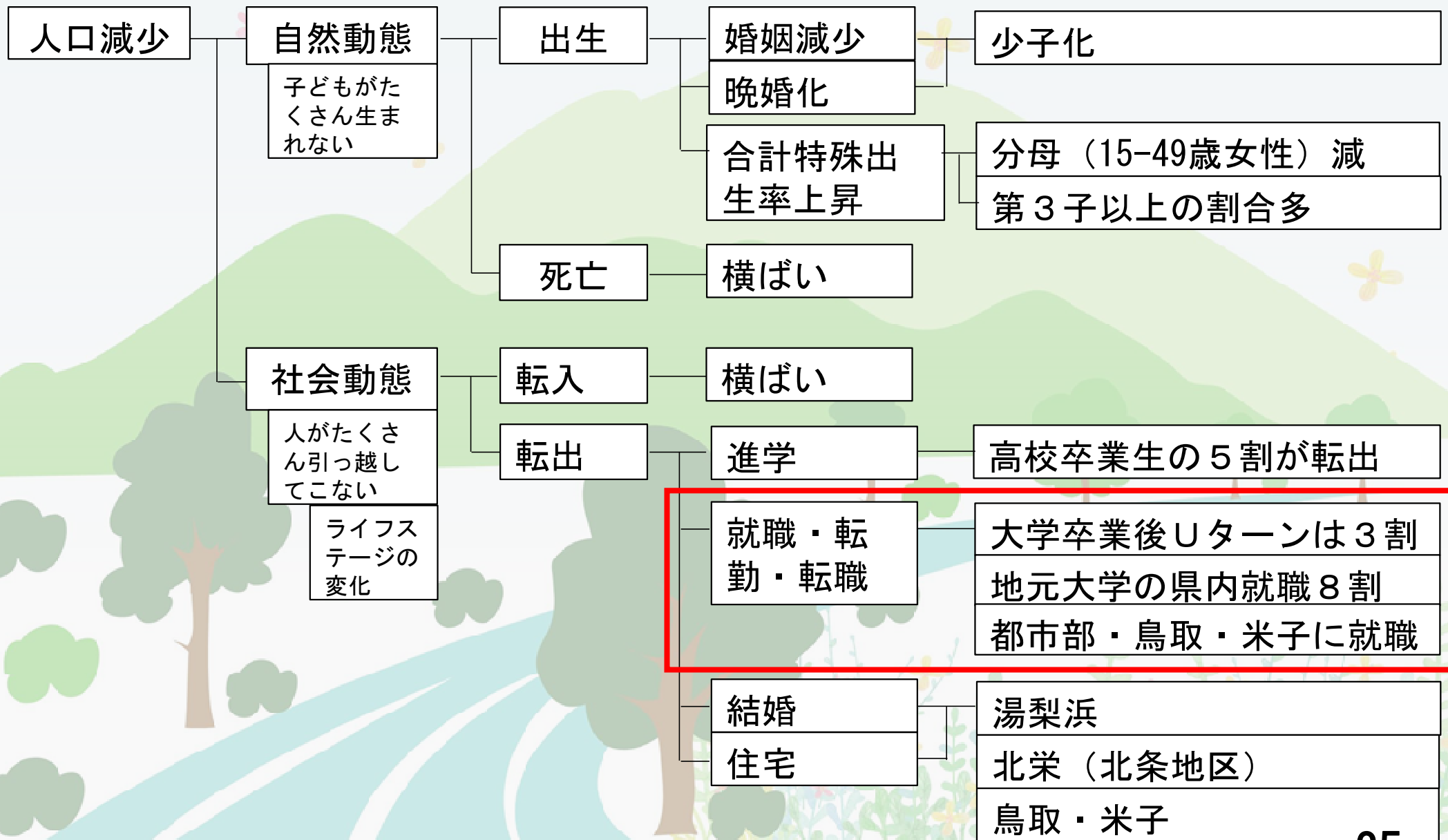


● 打ち手の検討



サテライトキャンパス
オンライン教育

● 打ち手の検討



● 社会増減の打ち手 転出抑制・転入増

○しごと 付加価値を高める

課題 仕事のマッチング

> 民間企業がハローワーク以外の転職サイトへの登録を支援

※転職、求人にはハローワークという考え方は都市在住者にはなじまないという意見あり。
多くは、転職・求人サイトを活用している実態があり、そちらへの登録支援を制度化。

> 女性が働きやすい（誰もが働きやすい）県中部 という付加価値≒ブランディング

制度	<ul style="list-style-type: none">公的な支援制度は高水準（保育料、給食費、不妊治療）かつ自治体ごとの差は少ない女性就業支援専門員の配置（+1） ※長野県南箕輪村
風土	<ul style="list-style-type: none">民間企業の働きやすさ（風土） ↑ 企業経営者、労働基準監督署、自治体の連携

社会増減の打ち手 転出抑制・転入増

- 大学生の企業選択の優先順位は、「安定している会社」、「自分のやりたい仕事（職種）ができる会社」、「給料の良い会社」、「働きがいのある会社」、「これから伸びそうな会社」と続く。

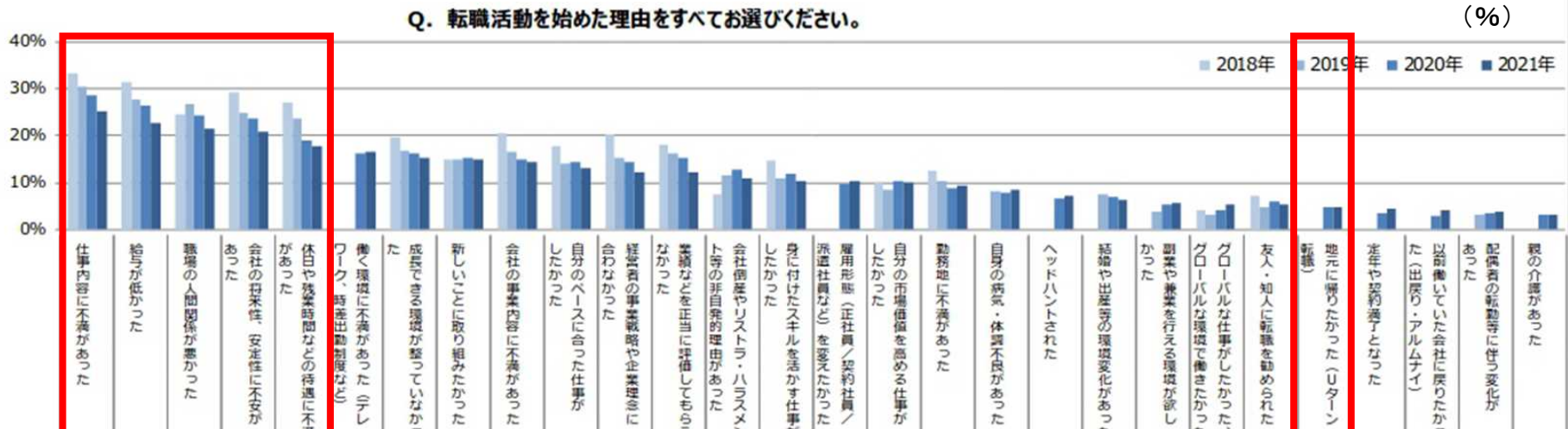
■企業選択のポイント

(3)あなたが企業選択をする場合、どのような企業がよいと思いますか(2つ選択)

	全体		文系男子		理系男子		文系女子		理系女子	
		22年卒		22年卒		22年卒		22年卒		22年卒
安定している会社	43.9%	42.8%	48.4%	46.6%	48.0%	46.4%	39.5%	38.3%	36.7%	38.0%
これから伸びそうな会社	11.6%	12.4%	15.9%	16.9%	13.5%	15.2%	7.6%	7.9%	7.8%	7.7%
給料の良い会社	19.1%	17.5%	21.6%	20.6%	23.8%	22.6%	14.3%	12.1%	15.7%	13.8%
自分のやりたい仕事(職種)ができる会社	32.8%	34.6%	28.5%	30.0%	32.5%	34.7%	34.5%	36.0%	39.2%	41.8%
有名な会社	2.7%	2.9%	3.3%	3.5%	3.4%	3.6%	1.8%	2.1%	1.7%	2.0%
休日、休暇の多い会社	9.9%	9.1%	10.7%	9.6%	9.6%	8.7%	10.2%	9.6%	7.9%	7.5%
勤務制度、住宅など福利厚生の良い会社	11.4%	11.0%	9.2%	8.4%	9.1%	8.9%	13.9%	13.4%	14.6%	15.2%
転勤のない会社	5.2%	4.8%	4.5%	4.0%	4.2%	4.1%	6.4%	6.1%	5.6%	5.1%
海外で活躍できそうな会社	2.2%	3.0%	2.0%	2.9%	1.6%	1.9%	3.1%	4.5%	1.5%	1.7%
いろいろな職種を経験できる会社	3.1%	3.1%	3.2%	3.3%	2.8%	2.6%	3.5%	3.4%	2.9%	2.6%
自分の能力・専門を活かせる会社	6.7%	6.3%	5.7%	5.8%	7.8%	7.2%	5.7%	5.1%	9.1%	8.6%
大学・男女差別のない会社	2.1%	2.5%	1.5%	1.8%	0.8%	0.8%	3.5%	4.3%	2.6%	3.1%
若手が活躍できる会社	2.4%	2.5%	3.2%	3.5%	2.0%	2.0%	2.2%	2.2%	1.9%	1.7%
事業を多角化している会社	1.3%	1.2%	1.4%	1.4%	1.3%	1.2%	1.3%	1.1%	1.1%	1.2%
働きがいのある会社	12.2%	12.8%	11.6%	12.5%	9.7%	10.4%	14.2%	15.1%	13.8%	12.7%
志望業種の会社	2.6%	3.0%	2.2%	2.7%	2.9%	3.4%	2.7%	2.6%	2.9%	3.6%
親しみのある会社	3.6%	3.8%	2.9%	3.1%	2.4%	2.6%	4.9%	5.2%	4.2%	4.6%
社風が良い会社	10.8%	11.3%	7.8%	7.6%	6.8%	7.4%	15.4%	16.5%	14.1%	14.8%
一生続けられる会社	3.9%	4.5%	3.7%	4.1%	3.8%	4.6%	3.8%	4.7%	4.5%	4.6%
研修制度のしっかりしている会社	3.0%	2.8%	2.2%	2.1%	3.2%	3.4%	2.9%	2.6%	4.2%	3.8%

社会増減の打ち手 転出抑制・転入増

➤ **転職する理由**は、「**仕事内容に不満**があった」、「**給与が低かった**」、「**職場の人間関係が悪かった**」、「**会社の将来性、安定性に不安**があった」、「**休日や残業時間などの待遇に不満**があった」と続く。



属性	人数	仕事内容に不満があった	給与が低かった	職場の人間関係が悪かった	会社の将来性、安定性に不安があった	休日や残業時間などの待遇に不満があった	地元に戻りたかった(Uターン転職)
2021年 転職者 全体	(1500)	25.1	22.9	21.6	20.7	17.8	4.7
2020年 転職者 全体	(1500)	28.6	26.4	24.3	23.7	19.0	4.7
2019年 転職者 全体	(1500)	30.6	27.8	26.7	24.8	23.8	4.8
2018年 転職者 全体	(500)	33.4	31.4	24.6	29.2	27.2	7.2
性別 × 年代							
男性20代	(323)	19.5	22.6	13.3	18.9	18.9	5.0
男性30代	(337)	25.8	27.6	23.1	22.3	20.2	7.7
男性40代	(221)	28.1	21.7	22.6	25.3	14.0	7.7
男性50代	(117)	18.8	12.0	12.0	18.8	7.7	7.7
女性20代	(221)	32.6	27.1	31.7	24.4	25.8	2.6
女性30代	(136)	25.0	22.1	21.3	16.2	14.0	13.2
女性40代	(97)	26.8	20.6	32.0	16.5	14.4	17.5
女性50代	(48)	20.8	10.4	18.8	10.4	16.7	14.6
前職の職種							
営業	(251)	23.1	19.9	16.7	23.5	16.7	19.5
企画・経営・管理・事務	(396)	23.0	17.7	21.0	18.4	14.4	15.2
サービス職	(378)	23.3	28.0	24.1	21.2	20.6	16.9
クリエイター・エンジニア	(200)	28.0	23.5	20.5	22.5	15.0	17.0
技能工・建築・土木	(149)	31.5	30.2	24.2	18.1	24.8	12.8
コンサルタント・専門職	(65)	21.5	16.9	21.5	15.4	18.5	18.5
同一業種/異業種希望							
前職と異なる業種のみ希望	(579)	23.1	21.6	19.2	19.9	18.0	15.9
前職と同一の業種も希望	(921)	26.3	23.7	23.1	21.3	17.7	16.8
同一職種/異職種希望							
前職と異なる職種のみ希望	(469)	24.3	23.5	18.3	20.0	19.6	19.2
前職と同一の職種も希望	(1031)	25.4	22.6	23.1	21.0	17.0	15.2

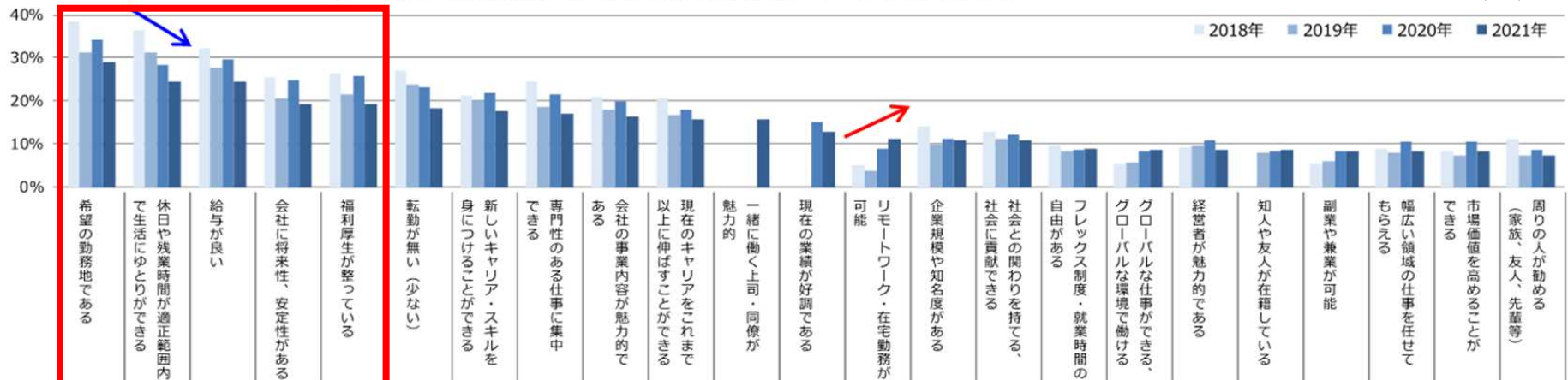
「**地元に戻りたかった (Uターン転職)**」は約5%
→ **地元への愛着や繋がりを強めることでUPできるのは?**

社会増減の打ち手 転出抑制・転入増

➤ **転職先を決定する理由**は、「**希望の勤務地**である」、「休日や残業時間が適正範囲内で**生活にゆとり**ができる」、「給与が良い」、「会社に将来性、安定性がある」、「福利厚生が整っている」と続く。

Q. あなたが現在お勤めの会社を転職先に決定した理由をすべてお選びください。

(%)



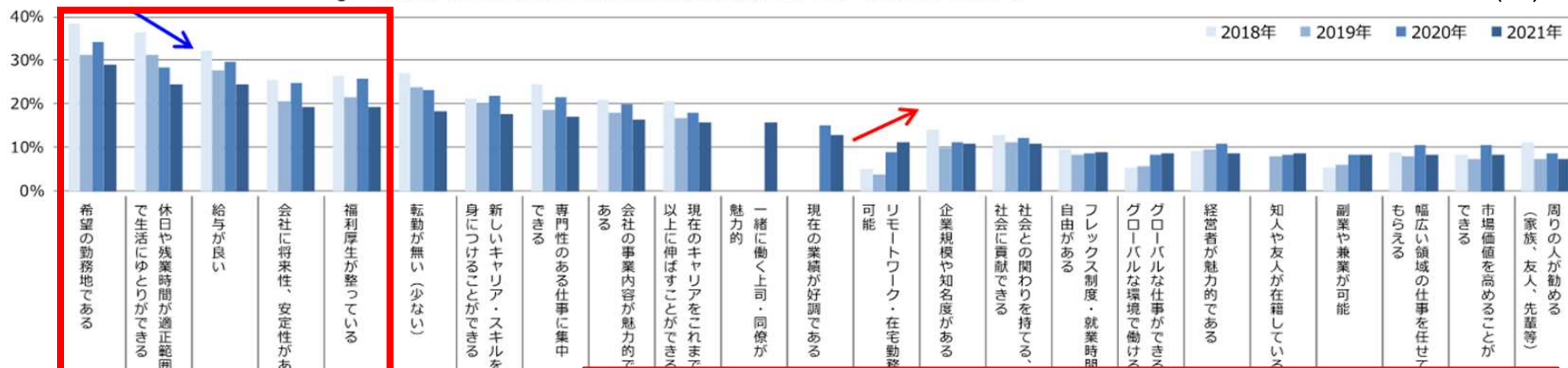
		希望の勤務地である	休日や残業時間が適正範囲内で生活にゆとりができる	給与が良い	会社に将来性、安定性がある	福利厚生が整っている	転勤が無い(少ない)	新しいキャリア・スキルを身につけることができる	専門性のある仕事に集中できる	会社の事業内容が魅力的である	現在のキャリアをこれまで以上に伸ばすことができる	魅力的	一緒に働く上司・同僚が	現在の業績が好調である	リモートワーク・在宅勤務が可能	企業規模や知名度がある	社会に貢献できる	社会との関わりを持てる、社会に貢献できる	自由がある	フレックス制度・就業時間の	グローバルな仕事ができる、グローバルな環境で働ける	経営者が魅力的である	知人や友人が在籍している	副業や兼業が可能	幅広い領域の仕事を任せてもらえる	市場価値を高めることができる	(家族、友人、先輩等)	周りの人が勤める
2021年 転職者 全体 (1500)		29.0	24.5	24.5	19.1	19.1	18.3	17.8	17.1	16.5	15.8	15.6	12.7	11.3	10.9	10.7	9.0	8.6	8.5	8.5	8.4	8.3	8.3	8.3	7.3	7.3		
2020年 転職者 全体 (1500)		34.2	28.4	29.7	24.7	25.8	23.2	21.9	21.4	20.1	18.1	*	15.0	8.9	11.3	12.2	8.7	8.3	10.9	8.3	8.3	10.5	10.5	10.5	8.7	8.7		
2019年 転職者 全体 (1500)		31.1	31.4	27.7	20.5	21.5	23.7	20.3	18.8	17.9	16.7	*	*	3.7	9.8	11.3	8.3	5.7	9.5	8.1	6.1	8.0	7.3	7.3	7.2	7.2		
2018年 転職者 全体 (500)		38.4	36.6	32.2	25.4	26.4	27.0	21.2	24.4	20.8	20.6	*	*	5.0	14.2	12.8	9.6	5.2	9.2	*	5.2	8.8	8.2	11.2	11.2	11.2		
性別 × 年代	男性20代 (323)	25.1	22.0	23.8	14.9	19.5	18.6	17.6	15.5	16.4	14.6	14.2	13.9	11.5	13.0	9.3	11.8	10.5	4.3	10.2	10.2	8.7	9.9	7.4	7.4	7.4		
	男性30代 (337)	24.3	27.9	23.7	19.6	20.5	19.3	19.3	18.7	20.2	17.8	15.4	12.5	14.2	11.3	14.2	11.0	10.4	10.4	6.8	11.6	11.3	9.5	7.4	7.4			
	男性40代 (221)	28.1	18.6	31.7	24.0	16.7	19.0	13.1	18.1	18.1	19.9	18.6	16.3	11.3	11.8	14.5	9.0	8.6	14.0	11.8	7.2	7.7	7.7	8.6	8.6			
	男性50代 (117)	36.8	15.4	19.7	17.9	6.8	18.8	16.2	16.2	11.1	8.5	7.7	13.7	6.0	9.4	11.1	6.8	6.0	6.8	7.4	3.4	5.1	6.0	4.3	4.3			
	女性20代 (221)	32.1	33.9	24.4	19.9	23.1	19.0	20.4	14.0	14.0	12.2	15.4	9.5	9.0	9.0	7.2	5.9	6.3	6.3	5.4	6.8	6.8	8.6	8.6	5.9	5.9		
現在の職種	営業 (218)	25.2	24.3	21.1	15.1	17.0	20.6	18.3	12.8	17.4	15.1	17.4	13.3	12.8	9.2	11.9	11.5	11.9	13.8	8.7	10.1	10.6	11.0	8.7	8.7			
	企画・経営・管理・事務 (421)	33.0	29.9	23.8	21.9	20.7	23.0	17.1	17.1	19.5	19.5	17.8	14.0	16.6	13.8	10.9	11.6	10.9	10.9	9.7	9.0	11.9	11.4	8.8	8.8			
	サービス職 (358)	27.4	22.3	23.2	14.8	17.6	11.7	16.2	17.0	11.2	13.4	14.2	8.4	5.6	7.5	10.6	5.9	6.4	7.0	8.7	7.0	4.2	5.6	8.9	8.9			
	クリエイター・エンジニア (196)	26.5	19.4	28.1	20.4	23.0	13.8	19.9	23.5	21.4	17.3	15.8	16.3	15.8	10.2	11.2	10.7	8.7	6.1	5.1	9.7	11.7	8.7	5.6	5.6			
	技能工・建築・土木 (171)	28.7	23.4	31.6	19.9	18.7	17.5	19.3	14.0	14.0	9.9	14.0	14.6	3.5	11.7	7.0	4.7	1.8	4.7	8.8	5.8	2.3	3.5	2.9	2.9			
仕事の満足度	満足度が上がった (771)	36.4	28.8	29.6	26.7	24.9	20.1	22.6	20.9	22.2	20.8	21.4	16.5	13.1	13.9	13.4	9.5	9.1	9.7	8.8	10.4	9.7	11.5	7.8	7.8			
	満足度が下がった (226)	18.6	23.0	19.9	8.8	13.7	18.6	13.7	14.6	7.1	11.1	9.7	8.0	10.6	5.8	7.1	10.2	8.0	7.5	7.1	4.9	6.2	4.9	5.3	5.3			
	1~2回 (785)	29.0	25.5	23.8	19.6	19.4	18.7	20.1	16.4	16.7	15.7	15.0	13.4	12.7	11.7	12.5	8.4	9.6	8.2	7.1	8.3	8.2	9.0	6.6	6.6			
転職回数	3~4回 (411)	29.2	25.8	23.4	19.7	21.4	16.5	15.3	18.0	20.4	17.0	16.8	13.4	9.0	10.9	9.0	10.5	7.8	9.7	9.5	9.5	9.5	8.5	8.5	8.5	8.5		
	5~9回 (244)	27.5	23.4	28.7	17.6	15.6	20.9	15.2	18.9	11.5	16.4	16.4	11.1	11.5	8.6	10.2	9.4	8.2	8.2	11.1	8.2	8.2	8.2	7.8	7.8			
	10回以上 (60)	33.3	6.7	23.3	15.0	15.0	13.3	15.0	11.7	6.7	6.7	11.7	6.7	6.7	6.7	10.0	1.7	5.0	3.3	6.7	10.0	3.3	3.3	5.0	5.0			

社会増減の打ち手 転出抑制・転入増

➤ **転職先を決定する理由**は、「**希望の勤務地**である」、「休日や残業時間が適正範囲内で**生活にゆとり**ができる」、「給与が良い」、「会社に将来性、安定性がある」、「福利厚生が整っている」と続く。

Q. あなたが現在お勤めの会社を転職先に決定した理由をすべてお選びください。

(%)



性別 × 年代	人数	希望の勤務地である	生活にゆとりができる	給与が良い	会社に将来性、安定性がある	福利厚生が整っている	転動が無い(少ない)	新しいキャリア・スキルを身につけることができる	専門性のある仕事に集中できる	現在のキャリアをこれまでに伸ばすことができる	現在の業績が好調である	一緒に働く上司・同僚が魅力的	リモートワーク・在宅勤務可能	企業規模や知名度がある	社会に貢献できる	社会との関わりを持てる	フリーランス制度・就業時間自由がある	グローバルな仕事ができる	経営者が魅力的である	知人や友人が在籍している	副業や兼業が可能	幅広い領域の仕事に任せられる	市場価値を高めることができる	周りの人が勤める(家族、友人、先輩等)				
2021年 転職者 全体	(1500)	29.0	24.5	24.5	19.1	19.1	18.3	17.8	17.1	23.2	21.9	21.4	23.7	20.3	18.8	27.0	21.2	24.4	25.1	22.0	23.8	14.9	19.5	18.6	17.6	15.5		
2020年 転職者 全体	(1500)	34.2	28.4	29.7	24.7	25.8	23.2	21.9	21.4	23.7	20.3	18.8	27.0	21.2	24.4	25.1	22.0	23.8	14.9	19.5	18.6	17.6	15.5	19.3	19.3	18.7		
2019年 転職者 全体	(1500)	31.1	31.4	27.7	20.5	21.5	23.7	20.3	18.8	27.0	21.2	24.4	25.1	22.0	23.8	14.9	19.5	18.6	17.6	15.5	19.3	19.3	18.7	19.0	18.1	18.1		
2018年 転職者 全体	(500)	38.4	36.6	32.2	25.4	26.4	27.0	21.2	24.4	25.1	22.0	23.8	14.9	19.5	18.6	17.6	15.5	19.3	19.3	18.7	19.0	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1		
男性 20代	(323)	25.1	22.0	23.8	14.9	19.5	18.6	17.6	15.5	19.3	19.3	18.7	19.0	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	
男性 30代	(337)	24.3	27.9	23.7	19.6	20.5	19.3	19.3	18.7	19.3	19.3	18.7	19.0	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	
男性 40代	(221)	28.1	18.6	31.7	24.0	16.7	19.0	18.1	18.1	19.0	18.1	18.1	19.0	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	18.1	
男性 50代	(117)	36.8	15.4	19.7	17.9	6.8	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	16.2	
女性 20代	(221)	32.1	33.9	24.4	19.9	23.1	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	
女性 30代	(136)	30.9	27.2	22.8	17.6	19.9	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	22.1	
女性 40代	(97)	34.0	21.6	24.7	23.7	27.8	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	
女性 50代	(48)	43.8	20.8	16.7	16.7	10.4	6.3	12.5	14.6	6.3	12.5	14.6	6.3	12.5	14.6	6.3	12.5	14.6	6.3	12.5	14.6	6.3	12.5	14.6	6.3	12.5	14.6	
現在の職種	営業	(218)	25.2	24.3	21.1	15.1	17.0	20.6	18.3	12.8	20.6	18.3	12.8	20.6	18.3	12.8	20.6	18.3	12.8	20.6	18.3	12.8	20.6	18.3	12.8	20.6	18.3	12.8
	企画・経営・管理・事務	(421)	33.0	29.9	23.8	21.9	20.7	23.0	17.1	17.1	23.0	17.1	17.1	23.0	17.1	17.1	23.0	17.1	17.1	23.0	17.1	17.1	23.0	17.1	17.1	23.0	17.1	17.1
	サービス職	(358)	27.4	22.3	23.2	14.8	17.6	11.7	16.2	17.0	11.7	16.2	17.0	11.7	16.2	17.0	11.7	16.2	17.0	11.7	16.2	17.0	11.7	16.2	17.0	11.7	16.2	17.0
	クリエイター・エンジニア	(196)	26.5	19.4	28.1	20.4	23.0	13.8	19.9	23.5	13.8	19.9	23.5	13.8	19.9	23.5	13.8	19.9	23.5	13.8	19.9	23.5	13.8	19.9	23.5	13.8	19.9	23.5
	技能工・建築・土木	(171)	28.7	23.4	31.6	19.9	18.7	17.5	19.3	14.0	17.5	19.3	14.0	17.5	19.3	14.0	17.5	19.3	14.0	17.5	19.3	14.0	17.5	19.3	14.0	17.5	19.3	14.0
	コンサルタント・専門職	(80)	28.8	23.8	23.8	28.8	21.3	21.3	20.0	21.3	21.3	20.0	21.3	21.3	20.0	21.3	21.3	20.0	21.3	21.3	20.0	21.3	21.3	20.0	21.3	21.3	20.0	21.3
仕事の満足度	満足度が上がった	(771)	36.4	28.8	29.6	26.7	24.9	20.1	22.6	20.9	20.1	22.6	20.9	20.1	22.6	20.9	20.1	22.6	20.9	20.1	22.6	20.9	20.1	22.6	20.9	20.1	22.6	20.9
	満足度が下がった	(226)	18.6	23.0	19.9	8.8	13.7	18.6	13.7	14.6	18.6	13.7	14.6	18.6	13.7	14.6	18.6	13.7	14.6	18.6	13.7	14.6	18.6	13.7	14.6	18.6	13.7	14.6
転職回数	1~2回	(785)	29.0	25.5	23.8	19.6	19.4	18.7	20.1	16.4	18.7	20.1	16.4	18.7	20.1	16.4	18.7	20.1	16.4	18.7	20.1	16.4	18.7	20.1	16.4	18.7	20.1	16.4
	3~4回	(411)	29.2	25.8	23.4	19.7	21.4	16.5	15.3	18.0	20.4	17.0	16.8	13.4	9.0	10.9	9.0	10.5	7.8	9.7	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5	9.5
	5~9回	(244)	27.5	23.4	28.7	17.6	15.6	20.9	15.2	18.9	11.5	16.4	16.4	11.1	11.5	8.6	10.2	9.4	8.2	8.2	11.1	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2	8.2
	10回以上	(60)	33.3	6.7	23.3	15.0	15.0	13.3	15.0	11.7	6.7	6.7	11.7	6.7	6.7	10.0	1.7	5.0	3.3	6.7	10.0	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	

転職時には打ち手を考えられるのでは？

新卒だけでなく転職もターゲット

- 希望の勤務地に選んでもらう
- 生活のゆとり・暮らしやすさを最大化

● 社会増減の打ち手 転出抑制・転入増

- 都会に進学した若者が卒業後にUターンする割合は3割
- 若者が就職したい会社は、「安定している」「自分のやりたい仕事（職種）ができる」「給料が良い」「働きがいがある」「これから伸びそう」な会社

都会に進学した若者が卒業後にUターンする割合を引き上げたい（3割→4割）→若者が希望する地元の会社は限られる。

都会に進学して都会に就職した若者が転職する際に地元を選んでもらう割合を引き上げる（5%→10%）

転職先を決定する理由は、「希望の勤務地」「休日や残業時間が適正範囲内で生活にゆとりができる」「給与が良い」「会社に将来性、安定性がある」「福利厚生が整っている」→可能性はあるのでは？

新卒だけでなく転職もターゲットにしたUターン・地元定着

- 希望の勤務地に選んでもらう
- 生活のゆとり・暮らしやすさを最大化
- 地元への愛着や繋がりを強化、都市部との関係人口増加

● 社会増減の打ち手 転出抑制

- 大学生による高齢者スマホ教室
- 大学生応援！倉吉駅周辺カフェマップづくり
- 地区公民館（コミュニティセンター）事業に参画（謎解きウォーク、世間遺産探し）



- より愛着を育む取組にしていく
- 持続可能な取組にしていく
- 関係団体を巻き込んでいく（協力者を増やす）
- 専門人材を投入する
- ネットワーク化に繋げる
- 高校生に広げる



大学生による高齢者スマホ教室



大学生による高齢者スマホ教室

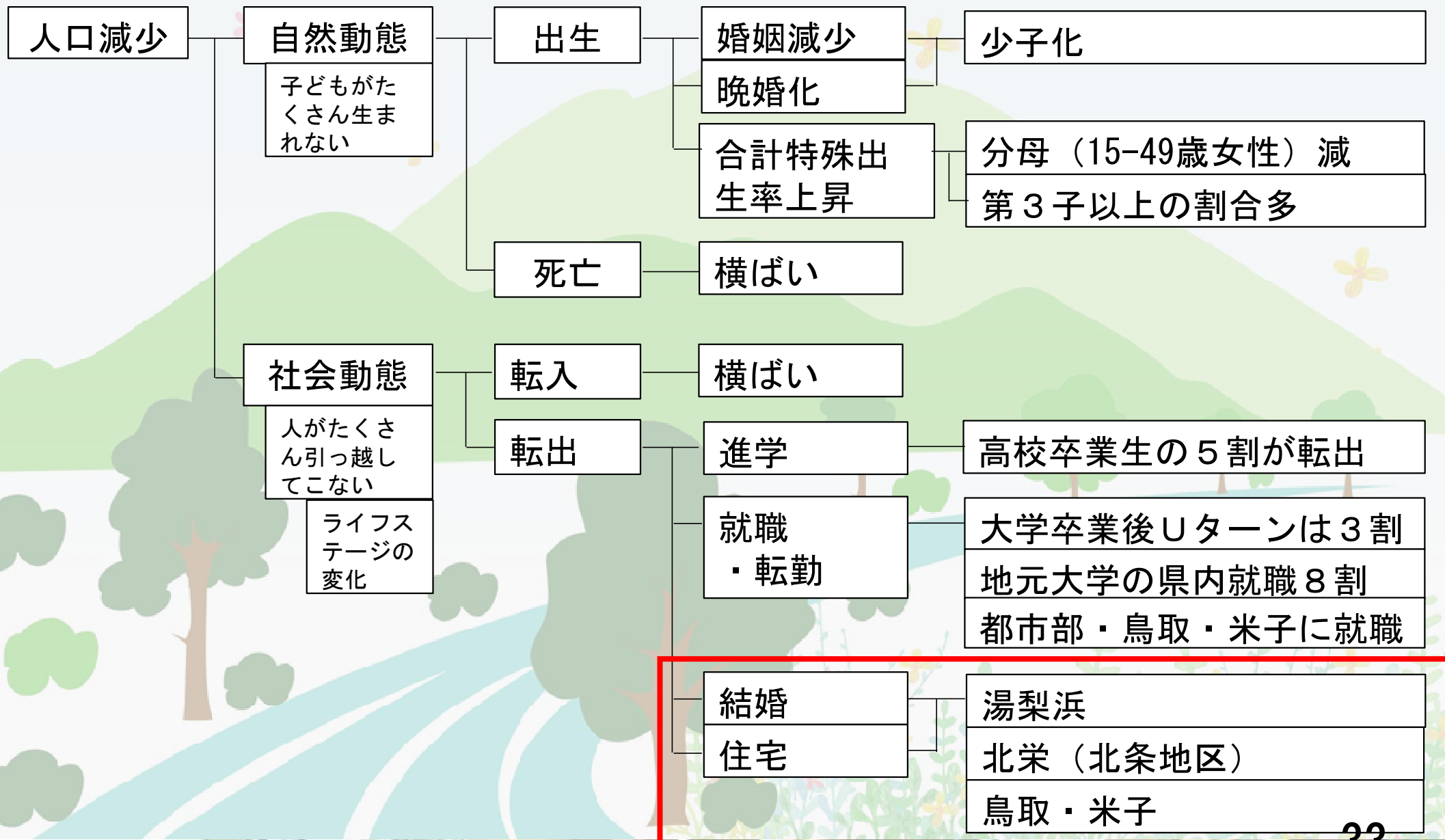


謎解きウォーク



謎解きウォーク

● 打ち手の検討



● 社会増減の打ち手 転出抑制

◆人口減少の打ち手

区分	理由	求めるもの
●ここに住まざるを得ない	通勤、実家などの要因	※特に支援を求めている
● <u>ここで暮らしたい、住みたい</u>	納得感（インフラと賃金は都市部に勝てない） 暮らしやすさの 付加価値 が必要	金銭 環境（人、 住まい 、立地） しごと （やりがい、 働きやすさ ）

○住まい

課題 移住選択のきっかけとなる賃貸住宅の少なさ

＞ 民間賃貸住宅建設に対する支援策の実施 = 取りこぼしを防ぐ

考えられる対策	先行事例
民間賃貸住宅建設に対する助成金交付	北海道 弟子屈町、上士幌町、中川町、置戸町、苫小牧市、安平町、中頓別町、猿払町、増毛町 長野県 信濃町、愛媛県 八幡浜市、大分県 竹田市、福島県 磐梯町、岡山県 奈義町 和歌山県 勝浦町、長崎県 西海市
民間賃貸住宅に対する固定資産税の減免・助成	北海道 京極町、茨城県 常陸太田市

※移住者の定住化（転出抑制）へは、次のステップとして、宅地分譲などの住宅政策も必要 **34**

● 社会増減の打ち手 転出抑制

転出者の大半が**県内（特に中部）**

→ 生活圏がそれほど変わらない

➤ **就職・結婚等での独立**を機に、**集合住宅**
の多い近隣市町に移っている？

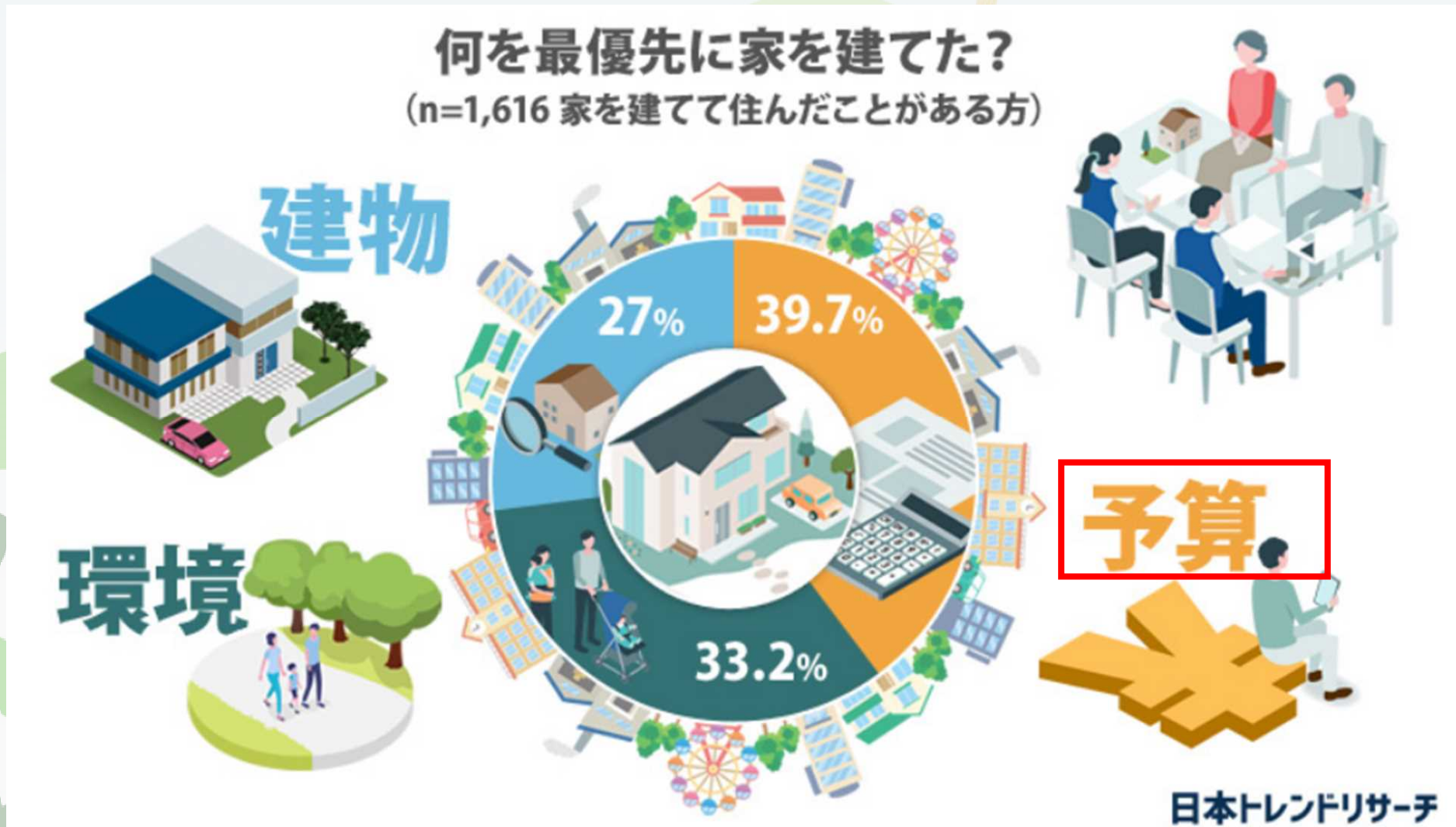
⇒ **集合住宅の確保**（役場周辺）

空き家の活用（山間部）



● 社会増減の打ち手 転出抑制

➤ 家を建てた時の優先順位は、予算、環境、建物の順に高い。



出所：日本トレンドリサーチときらくハウスによる調査
日本トレンドリサーチ (<https://trend-research.jp/9847/>) きらくハウス (<https://kirakuhouse.com/>)

● 社会増減の打ち手 転出抑制

自治体名	住宅取得支援
倉吉市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者定住新築住宅減免制度 (35歳以下の方が新築した時に <u>3年間固定資産税の一部を減免</u>) ・ 倉吉市移住定住促進空き家取得事業支援助成金 (35歳以下の方の空き家バンク登録物件の <u>購入費用を15万円助成</u>)
湯梨浜町	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新婚新生活支援事業補助金 結婚した39歳以下の世帯に <u>住宅取得費用の一部を助成 (65~75万円)</u> ○ 若者夫婦・子育て世代受託支援事業補助金 どちらかが35歳以下の夫婦又は中学生以下の子ども2人以上を養育する世帯に <u>住宅取得費用の一部を助成 (50~60万円)</u> ○ 三世代同居世帯等支援事業補助金 新たに親・子・孫など三世代以上の同居世帯として居住する世帯に <u>住宅取得費用の一部を助成 (50万円)</u>
北栄町	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北栄町定住支援住宅取得補助金 45歳までの人に <u>住宅取得の費用の一部を助成 (新築50万円、中古15万円)</u>
三朝町	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移住定住者住宅取得事業補助金 <u>住宅を取得、改修する費用の一部を助成 (50万円)</u>
琴浦町	特になし

社会増減の打ち手 転出抑制

- 駅前の地価は、鳥取市が倉吉市の約3倍、米子市が約2倍
- 住宅地の地価は、1.5倍～2倍（だいたい）

市町村	場所	場所説明	地価（円/m ² ）
鳥取市	栄町	鳥取駅前	126,000
鳥取市	東町2丁目	県立博物館周辺	93,500
鳥取市	西町3丁目	わらべ館周辺	84,000
米子市	加茂町1丁目	米子市役所周辺	82,000
鳥取市	吉成	イオン鳥取店南側500mほどの住宅地	64,000
鳥取市	田島	鳥取環状道路と湖山線の東の住宅地	56,300
鳥取市	湖山町北	国道9号ちよ志南側200m	55,000
米子市	西町	鳥取大学病院北側の住宅地	49,900
米子市	西福原4丁目	天満屋の北側周辺の住宅地	49,500
鳥取市	行徳3丁目	鳥取環状道路と山陰線の北東の住宅地	44,900
倉吉市	上井町1丁目	セントパレスの裏側付近の住宅地	44,200

社会増減の打ち手 転出抑制

- 中部圏域の土地代は倉吉駅周辺、上灘町、上井、清谷、宮川町、久留、田後、余戸谷町、龍島、下余戸、門田、大瀬、徳万、西福守町、西園、保、国坂、中江、三朝、由良宿の順に高い。

市町村	場所	場所説明	地価 (円/m ²)
倉吉市	上灘町	上灘小学校北側そば	39,500
米子市	三本松3丁目	天満屋から北に2kmの住宅地	38,800
米子市	昭和町	どらドラパーク西側の住宅地	35,400
倉吉市	上井	モスバーガーと天神川の間	35,200
倉吉市	清谷町1丁目	回転すし北海道とダイレックスの間	30,000
倉吉市	宮川町2丁目	TSUTAYA・ファミマの裏	27,700
湯梨浜町	久留	羽合東伯線の蒜山食堂付近	27,000
湯梨浜町	田後	あかまる牛肉店付近の住宅街	26,700
倉吉市	余戸谷町	円形劇場西側の住宅地	25,900
米子市	富益町	国道431号と外浜産業道路交差2km	24,300
湯梨浜町	龍島	湯梨浜町立図書館付近の住宅街	23,200

社会増減の打ち手 転出抑制

- 中部圏域の土地代は倉吉駅周辺、上灘町、上井、清谷、宮川町、久留、田後、余戸谷町、龍島、下余戸、門田、大瀬、徳万、西福守町、西園、保、国坂、中江、三朝、由良宿の順に高い。

市町村	場所	場所説明	地価 (円/m ²)
倉吉市	下余戸	消防署から三朝方面東側の西郷小付近	22,300
湯梨浜町	門田	倉吉駅から千坂を越えて左側	21,800
三朝町	大瀬	三朝町役場東側の住宅地	21,000
琴浦町	徳万	浦安駅東側の住宅地	20,800
倉吉市	西福守町	日圧工場北側の住宅地	20,100
三朝町	大瀬	三朝町役場北東側の住宅地	19,200
北栄町	西園	コナン米花商店東側の住宅地	19,000
琴浦町	保	大山乳業東側の住宅地	18,600
北栄町	国坂	広域連合事務局北側の住宅地	18,500
湯梨浜町	田後	マンモス北側の住宅地	18,400
琴浦町	赤碕	国道9号赤碕駅入口交差点の南側	18,200

● 社会増減の打ち手 転出抑制

市町村	場所	場所説明	地価 (円/m ²)
倉吉市	中江	バルコス西側の住宅地	18,000
倉吉市	北野	小鴨小学校北側の住宅地	17,000
三朝町	三朝	三朝温泉恋谷橋付近	16,000
北栄町	由良宿	山陰合銀大栄出張所北側の住宅地	15,400
三朝町	山田	三朝温泉病院裏側の住宅地	14,900
湯梨浜町	松崎	松崎駅北側の住宅地	14,600
湯梨浜町	上浅津	ハワイゆ～たうん付近の住宅地	14,500
琴浦町	八橋	JR八橋駅北側の日本海側沿い住宅地	14,500
琴浦町	赤碕	波しぐれ三度笠付近の住宅地	14,400
琴浦町	逢東	大栄東伯IC西側付近	13,900
三朝町	本泉	JA三朝支所南側の住宅地	13,400
倉吉市	関金町大鳥居	鴨川中学校東側の住宅地	12,800
倉吉市	関金町関金宿	関金温泉周辺	11,800

出所：令和4年度国土交通省地価公示・都道府県地価調査（住宅地）、説明場所は追記

● 社会増減の打ち手 転出抑制

- 通勤・通学時間（往復）の短さのランキングでは、鳥取県は、59分で全国6位
- 4大都市圏の都道府県を除く平均は、63分（往復）
- 田舎では通勤に片道30分が相場
→ 鳥取、米子を通勤圏としている人は多くはない

1位	大分県	57分
2位	青森県	58分
2位	秋田県	58分
2位	島根県	58分
2位	鹿児島県	58分
6位	福井県	59分
6位	鳥取県	59分
6位	宮崎県	59分

9位	佐賀県	60分
9位	山形県	60分
・		
	全国平均	79分
・		
38位	愛知県	79分
38位	茨城県	79分

40位	京都府	80分
41位	兵庫県	81分
42位	大阪府	85分
43位	奈良県	93分
44位	東京都	94分
45位	埼玉県	96分
46位	千葉県	102分
47位	神奈川県	105分

社会増減の打ち手 転出抑制

➤ 昼夜間比率が高いのは、倉吉市が112.2で最も高く、次いで、日野町（105.8）、米子市（103.6）、鳥取市（103.0）、日吉津村（100.3）と続く。

→ 仕事は倉吉、住まいは片道30分圏内


→ 特に湯梨浜町が人気（昼夜間比率79.6）

市町村	昼間人口(人)		夜間人口(人)		昼夜間人口比率				昼間人口の増減			
	令和2年 a	平成27年 b	令和2年 c	平成27年 d	令和2年 e= a/c*100	順位	平成27年 f= b/d*100	順位	増減差 g= a-b	順位	増減率 h= (a-b)/b*100	順位
鳥取市	194,088	199,960	188,465	193,717	103.0	4	103.2	5	-5,872	19	-2.9	2
米子市	152,603	155,247	147,317	149,313	103.6	3						
倉吉市	52,159	54,677	46,485	49,044	112.2	1						
境港市	32,745	33,837	32,740	34,174	100.0	6						
東伯郡	46,155	48,589	52,708	55,276	87.6							
三朝町	5,335	5,767	6,060	6,490	88.0	13						
湯梨浜町	12,777	13,247	16,055	16,550	79.6	19	80.0	19	-470	9	-3.5	5
琴浦町	15,384	16,524	16,365	17,416	94.0	9	94.9	8	-1,140	16	-6.9	11
北栄町	12,659	13,051	14,228	14,820	89.0	12	88.1	13	-392	6	-3.0	3

【昼間一夜间】
 倉吉市 5,674人
 東伯郡 △6,553人
 差 △879人
 →約1割が鳥取・米子に通勤

● 社会増減の打ち手 転出抑制

- 住まいは通勤時間30分以内の場所で探す
→ 土地代が比較的安く、環境が良い場所を選ぶ（湯梨浜町・北栄町）
- 倉吉市の昼夜間比率は県内で最も高く、湯梨浜町が最も低い
→ 仕事は倉吉、住まいは湯梨浜町の人が多い。

- 
- 住みやすいまちに住みたいが、職場との距離が最重要

- 
- **中部圏域に就職してもらうことが最重要**

- **Uターン就職の促進（3割→4割）※中途採用含**
- **地元就職の促進（8割→9割、市外大学2割→3割）**

● 社会増減の打ち手 転出抑制

● 打ち手*

- 都市部に進学・就職した圏域出身者に企業情報を発信（転職含め）
- 地元（市内・県内）に進学した人に企業情報を発信
- 圏域での暮らしやすさを発信（職住近接、子育て、住環境など）
- サテライトオフィスやテレワークを活用した2地域居住の環境整備（転職なき移住）
- 地元でテレワークしながら都市部企業に就職（転出なき就職）
- 若者が働きやすい企業を増やす
（参考）男性中心の会社は女性が就職しにくい
- 若者（高校生・大学生）の地元への愛着強化（地域活動・チャレンジ）
- 地元大学生と県外大学生が繋がりを持つ（SNS、グループ、同窓会）
- 若者がオンライン教育などで学び、仕事にできる。（チャレンジできる）

鳥取中部未来カルテ2050

1: 通常、2: 定年延長ケース、3: 若者回帰ケース、4: 出生率向上ケース

version 5.1

選択されたケース

いちばん上のケース選択欄
を使ってくださいね



Mr. OPoSSuM

このカルテは、社会保障・人口問題研究所の人口予測をベースとして、現在の傾向が継続した場合に、2050年に、産業、保育、教育、医療、介護がどのような状況になるかについて、シミュレーションした結果を示しています。この結果は、現在の傾向を政策によって変えることができれば変化します。

脱炭素地域戦略研究(OPoSuM-DS)/地域ストックマネジメント研究(OPoSSuM)の成果物です。

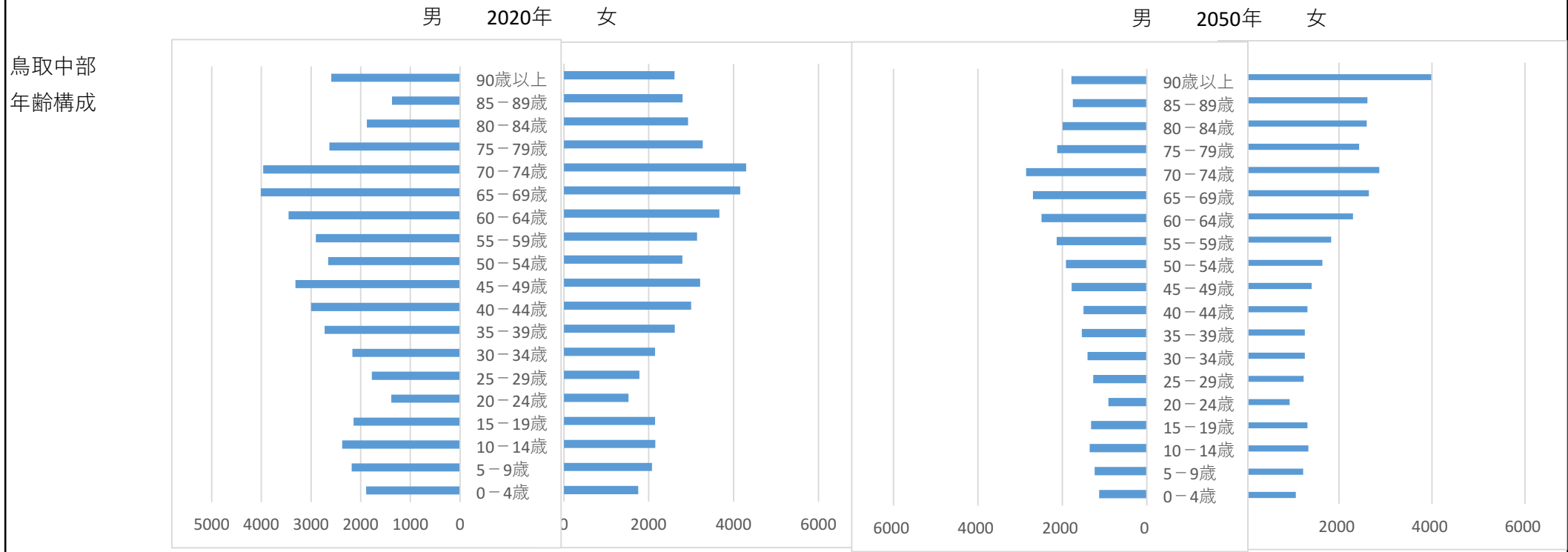
←この部分にカーソルを置いてスクロールしてください。

鳥取中部

	鳥取中部			鳥取県			全国(万人)		
	2020年	2050年	2050/2015	2020年	2050年	2050/2015	2020年	2050年	2050/2015
総人口	98663	68504	69.4%	567784	427636	75.3%	12615	10300	81.7%
年少人口(0~14歳)比	12.6%	10.7%	59.2%	12.8%	11.2%	65.6%	11.9%	10.3%	71.1%
生産年齢人口(15~64歳)比	52.3%	45.0%	59.7%	56.5%	48.3%	64.4%	57.8%	50.9%	71.9%
65歳以上人口比	37.0%	44.3%	83.1%	30.3%	40.6%	100.7%	28.0%	38.8%	113.1%
75歳以上人口比	20.4%	28.1%	96.0%	16.2%	25.1%	117.2%	14.5%	23.0%	129.9%



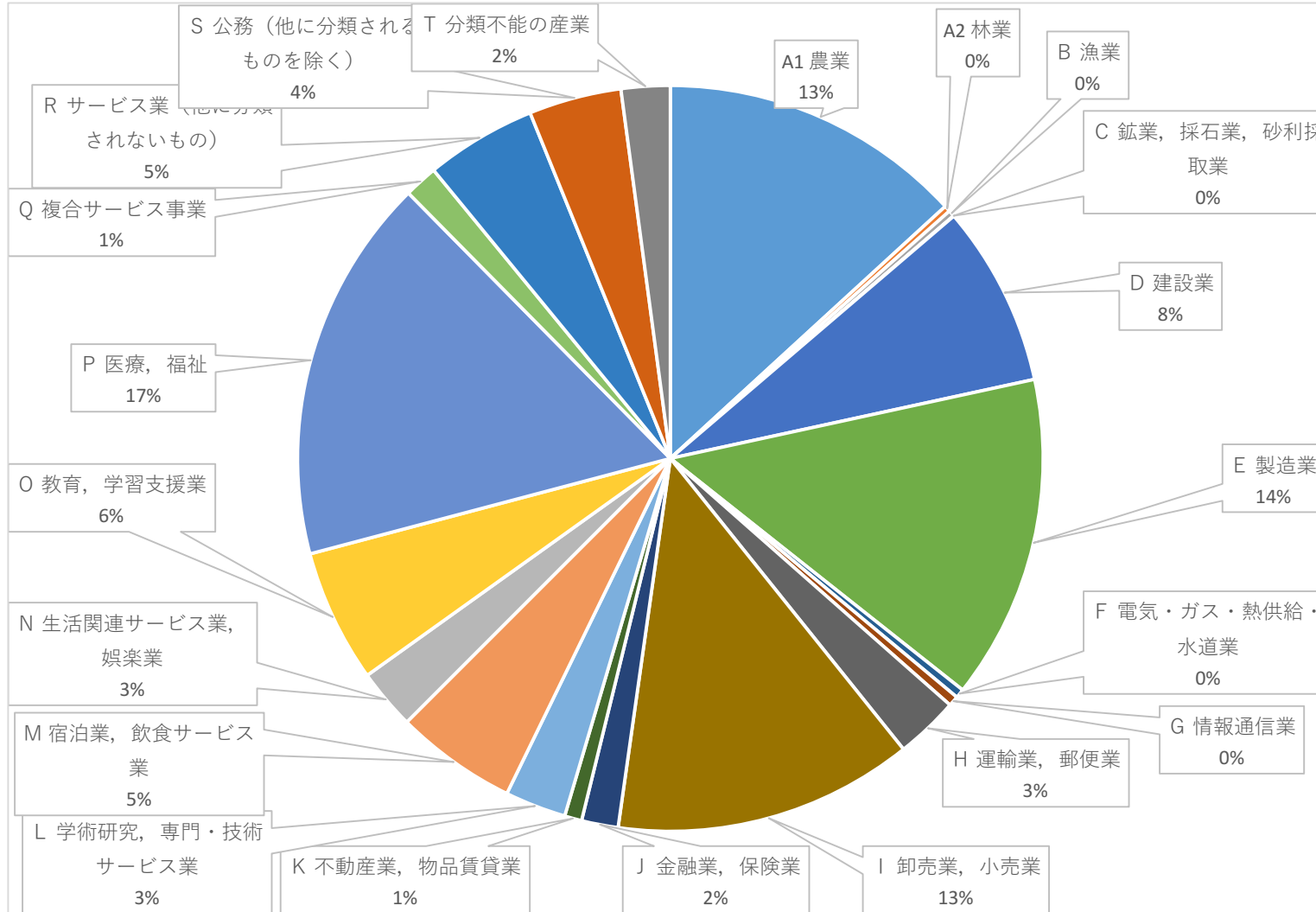
人口・年齢構成



鳥取中部 就業者人口（2020年国勢調査） 52084 就業者人口比率 52.8% 鳥取県 49.4% 全国 46.4%

（当該自治体での就業者人口／当該自治体に居住する人口）

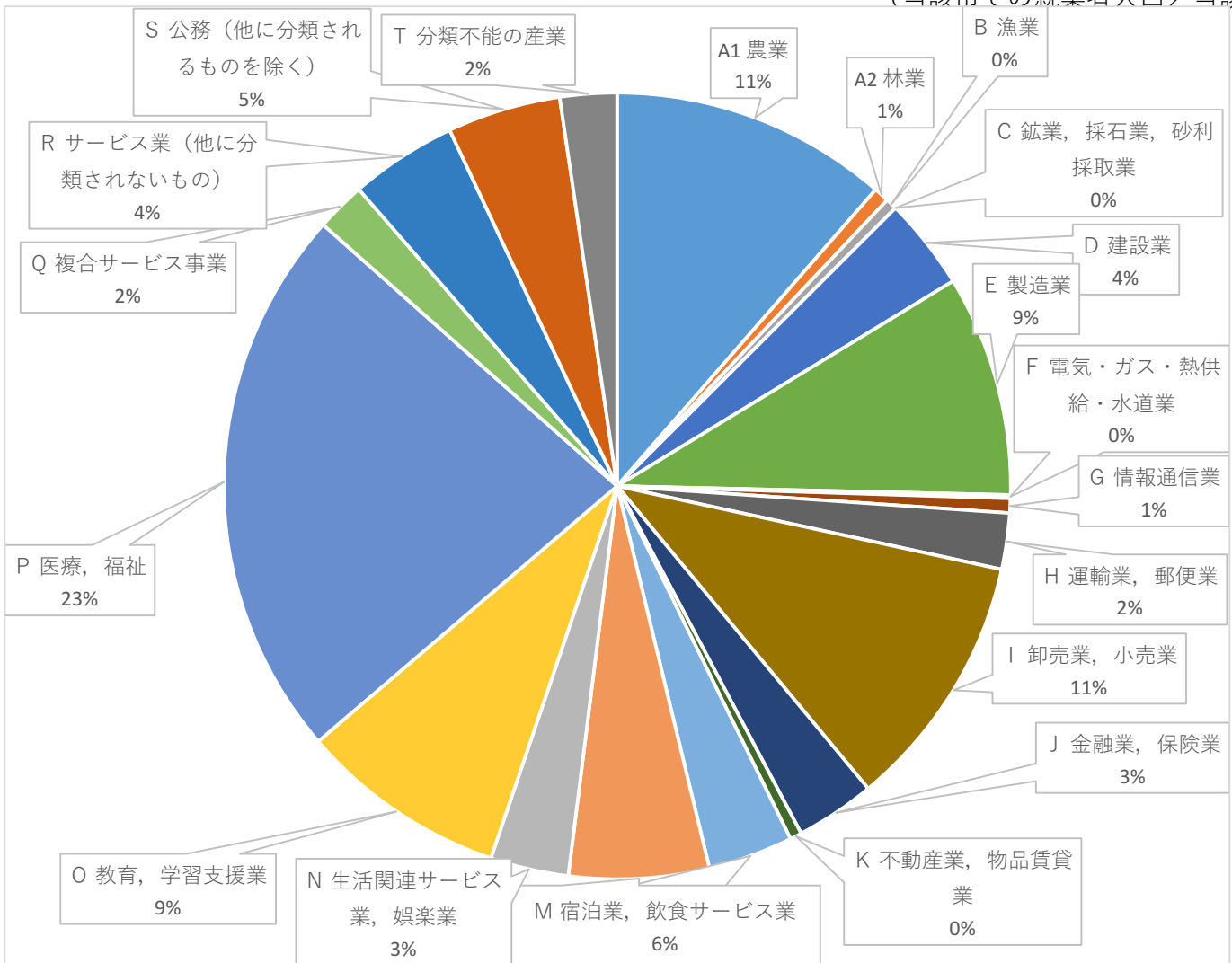
産業構造（2020）



A 農業	6527
A2 林業	134
B 漁業	132
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	7
D 建設業	3888
E 製造業	6960
F 電気・ガス・熱供給・水道業	194
G 情報通信業	221
H 運輸業, 郵便業	1356
I 卸売業, 小売業	6432
J 金融業, 保険業	782
K 不動産業, 物品賃貸業	373
L 学術研究, 専門・技術サービス業	1312
M 宿泊業, 飲食サービス業	2606
N 生活関連サービス業, 娯楽業	1300
O 教育, 学習支援業	2849
P 医療, 福祉	8269
Q 複合サービス事業	721
R サービス業 (他に分類されないもの)	2379
S 公務 (他に分類されるものを除く)	1990
T 分類不能の産業	1049

鳥取中部 就業者人口（年齢別就業者比率固定） 31180 就業者人口比率 45.5% 鳥取県 45.3% 全国 42.3%

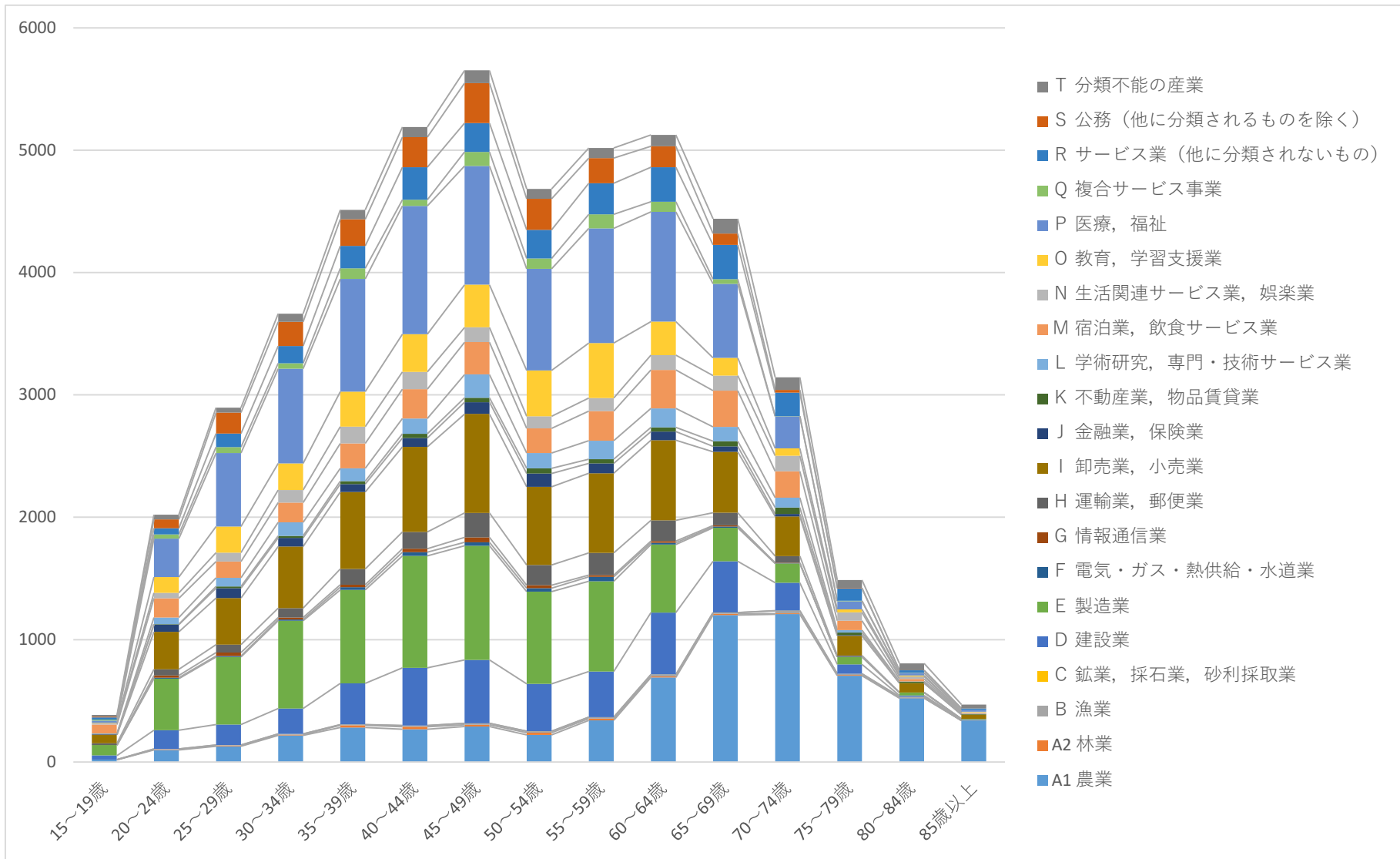
（当該市での就業者人口／当該自治体に居住する人口）



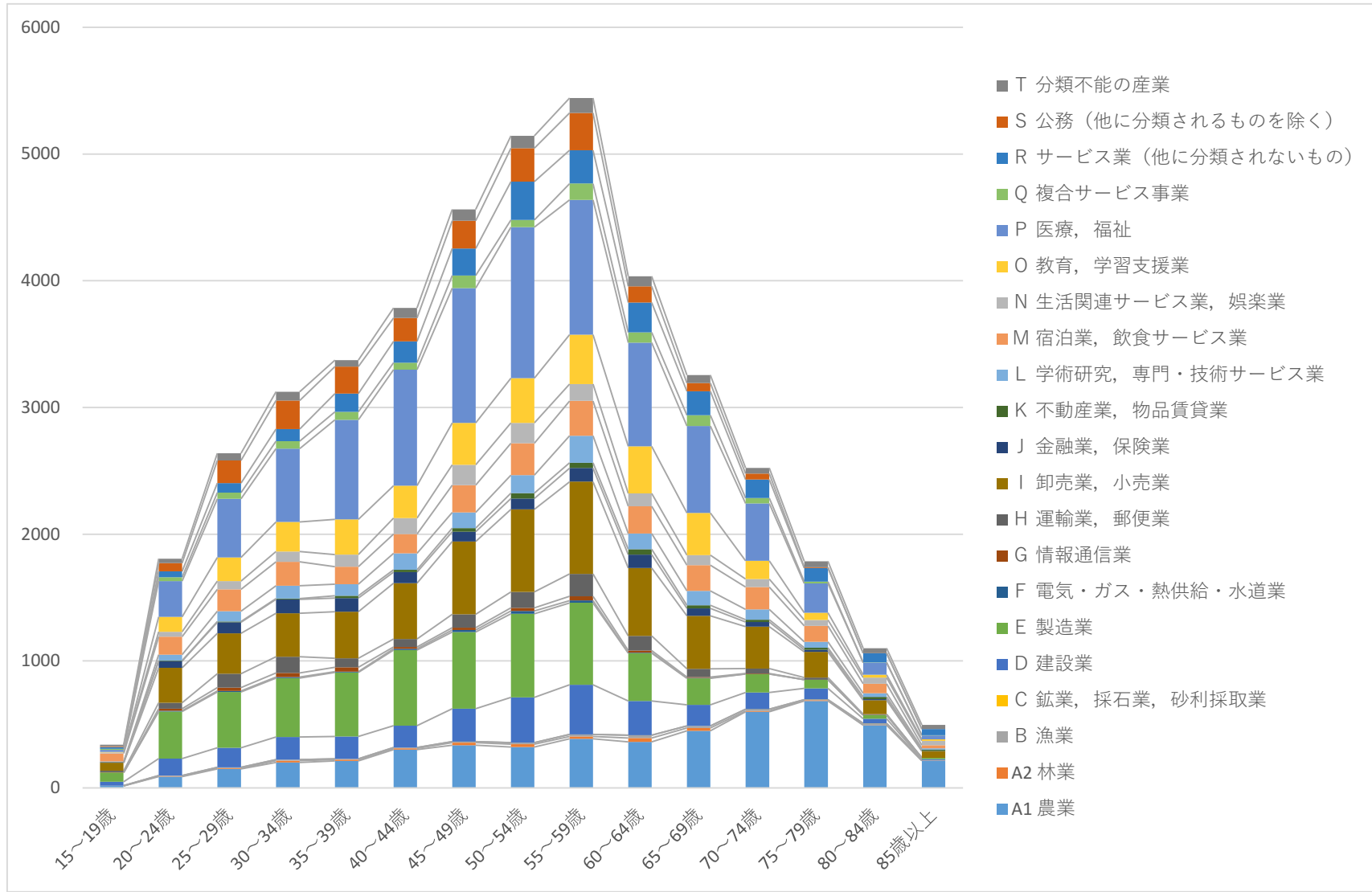
A 農業	3558
A2 林業	198
B 漁業	142
C 鉱業、採石業、砂利採取業	0
D 建設業	1178
E 製造業	2833
F 電気・ガス・熱供給・水道業	44
G 情報通信業	183
H 運輸業、郵便業	721
I 卸売業、小売業	3297
J 金融業、保険業	1018
K 不動産業、物品賃貸業	153
L 学術研究、専門・技術サービス業	1091
M 宿泊業、飲食サービス業	1793
N 生活関連サービス業、娯楽業	1005
O 教育、学習支援業	2662
P 医療、福祉	7112
Q 複合サービス事業	636
R サービス業（他に分類されないもの）	1373
S 公務（他に分類されるものを除く）	1453
T 分類不能の産業	729

就業人口の少ない町村では、2000年から2020年までの増加率が大きい業種に集まってしまう場合があります。

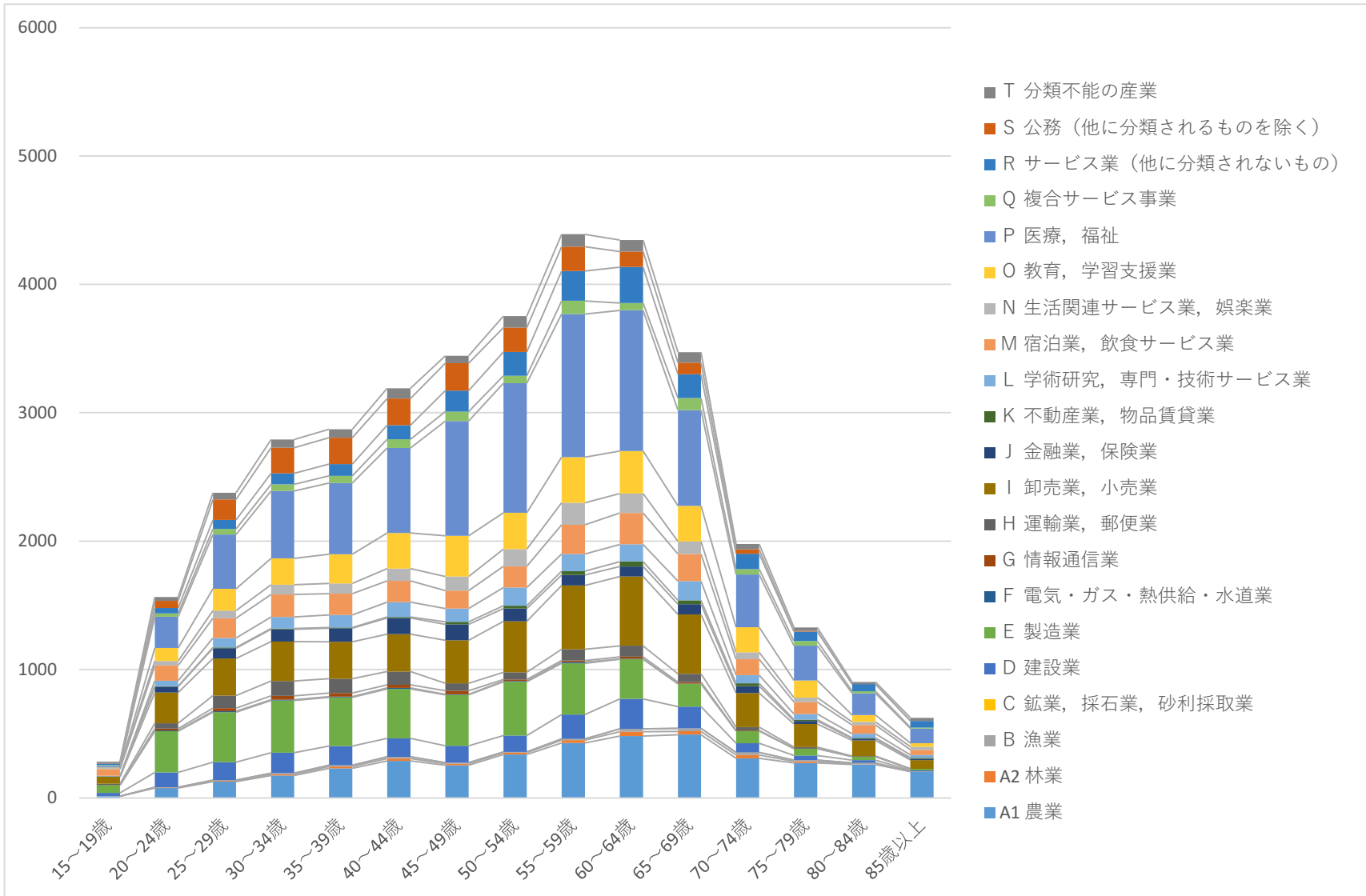
年齢別産業構造（2020）



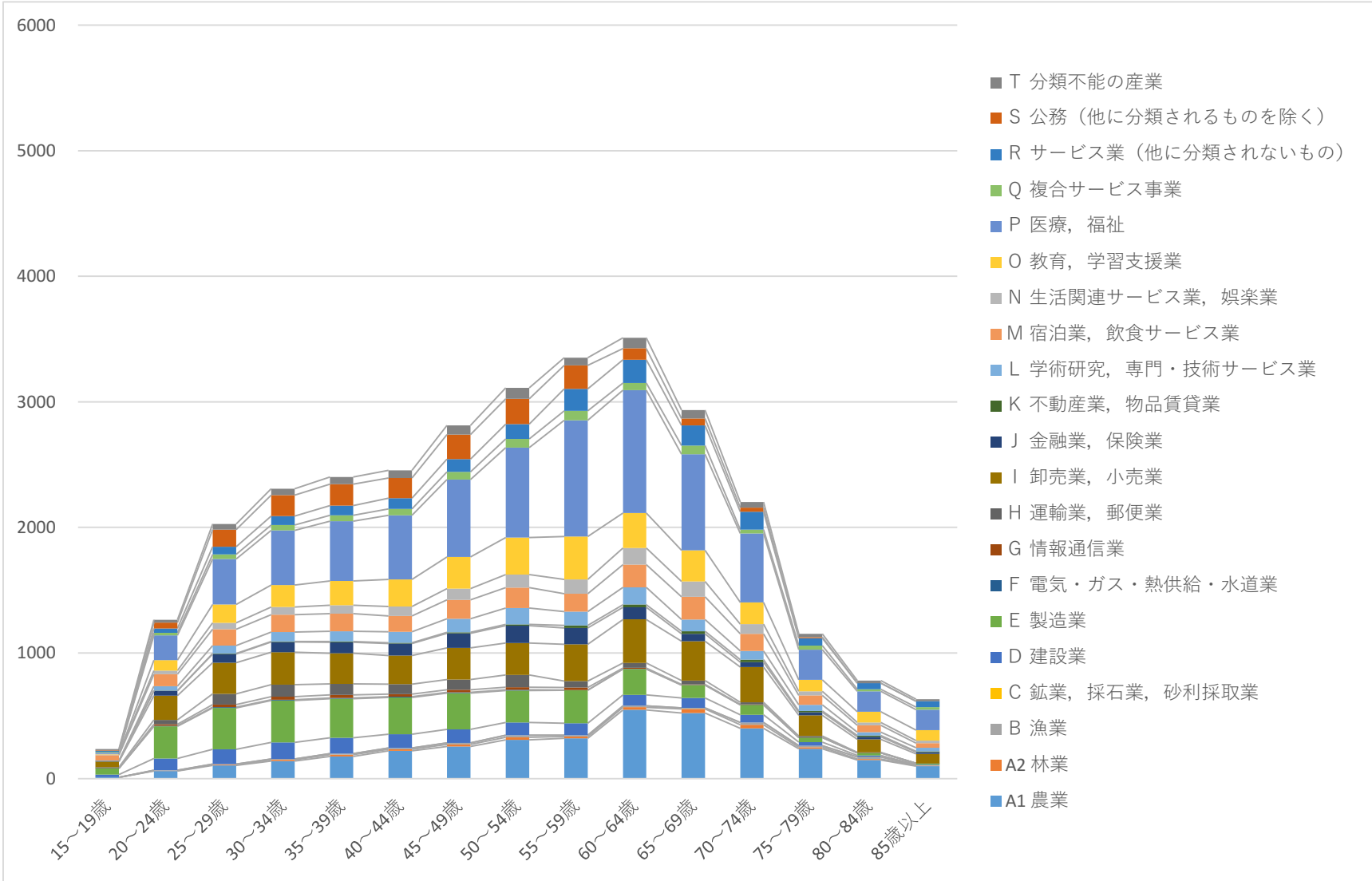
年齢別産業構造（2030）



年齢別産業構造（2040）

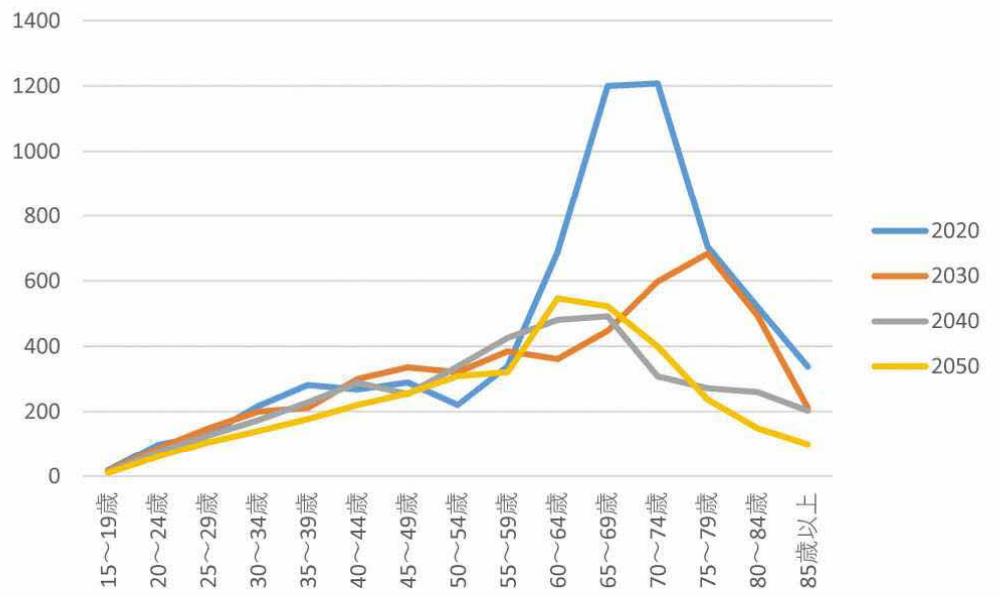


年齢別産業構造（2050）



就業人口の少ない町村では、2000年から2015年までの増加率が大きい業種に集まってしまふ場合があります。

鳥取中部 農業人口 2050/2020 46.7%

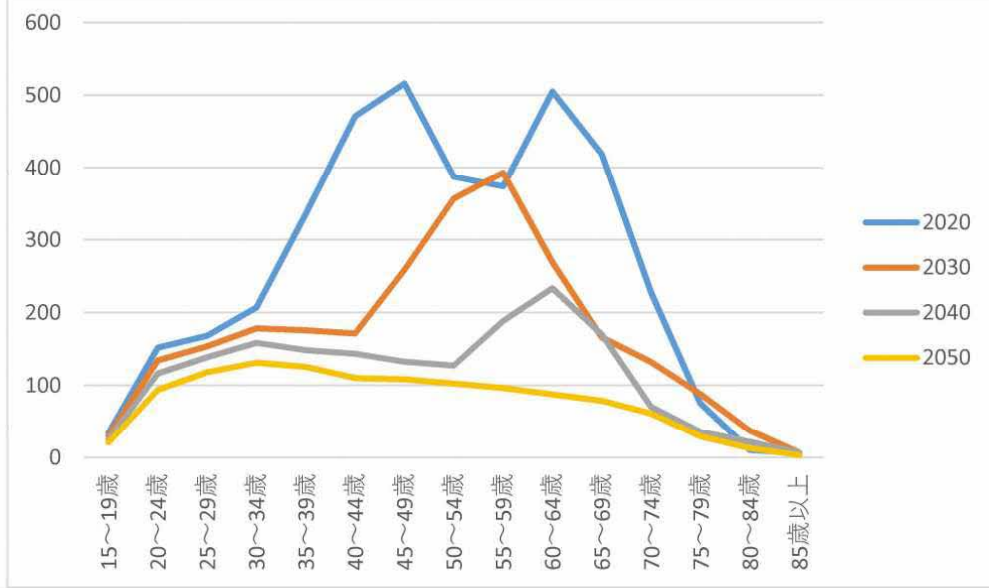


鳥取県 64.9%



建設業人口 2050/2020 30.3% 鳥取県 29.8%

建設業



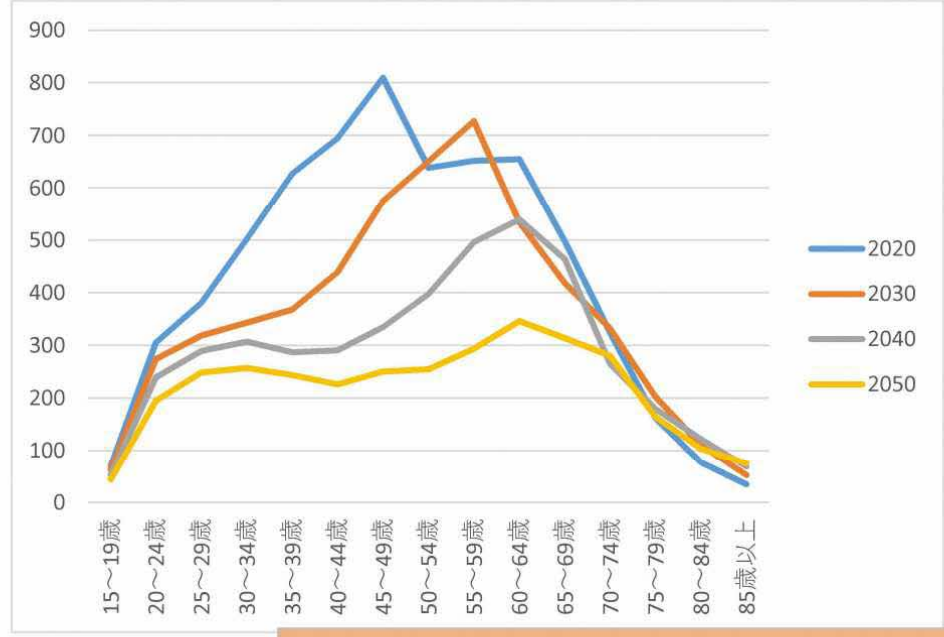
鳥取中部

卸売業、小売業人口

2050/2020

47.6% 鳥取県

53.7%

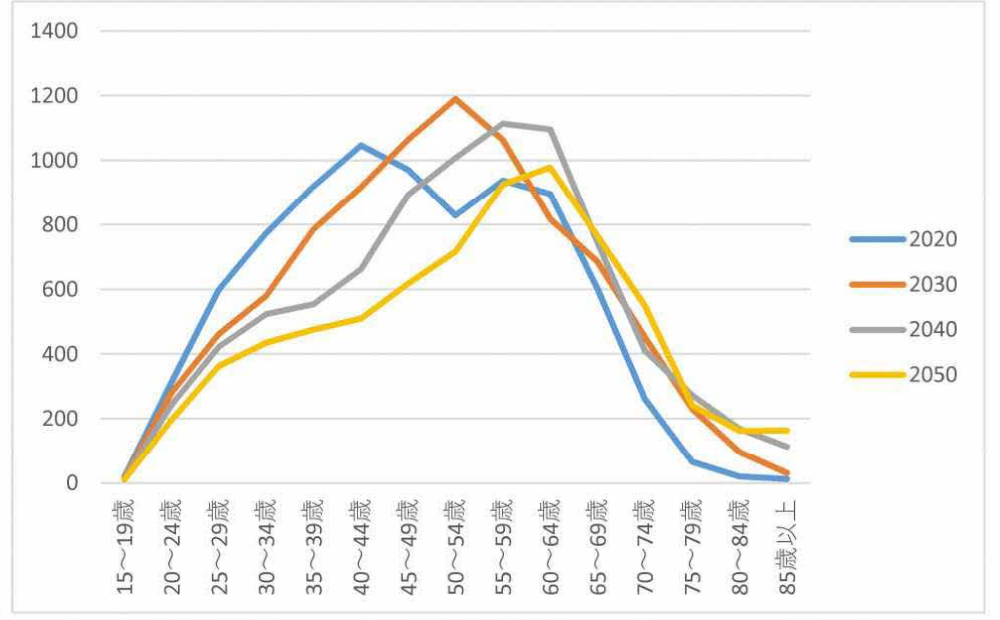


医療福祉人口

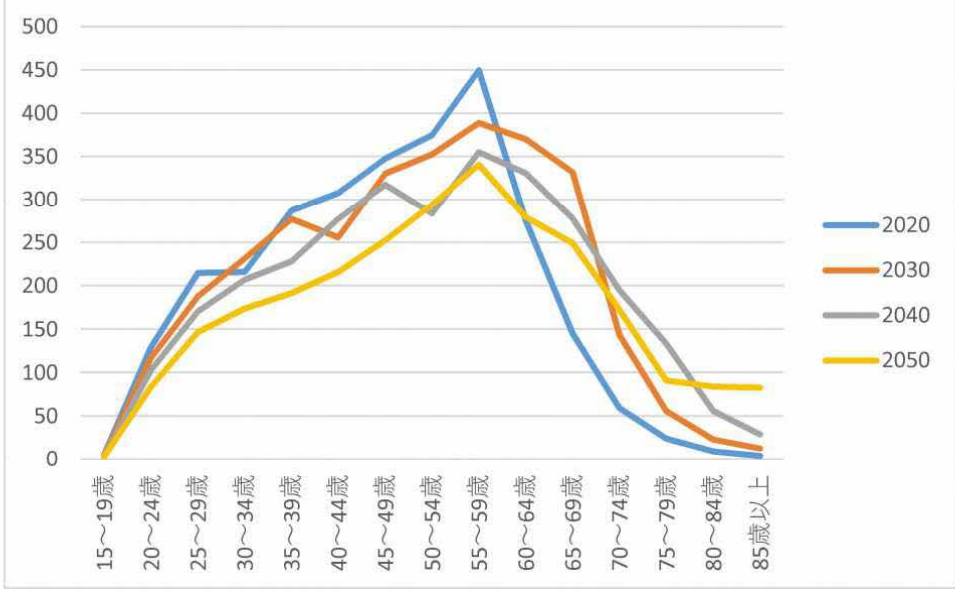
2050/2020

86.1% 鳥取県

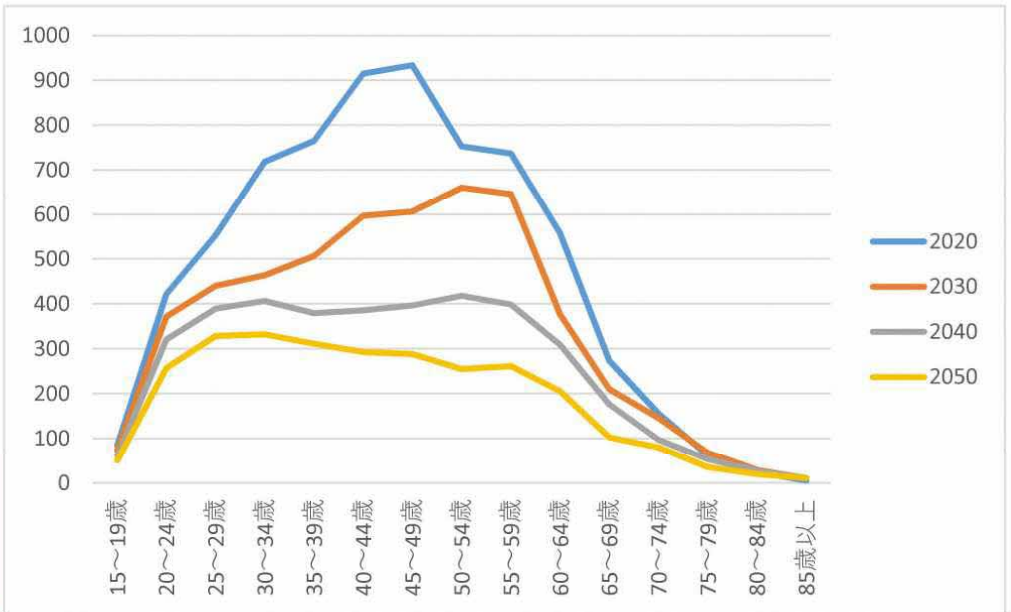
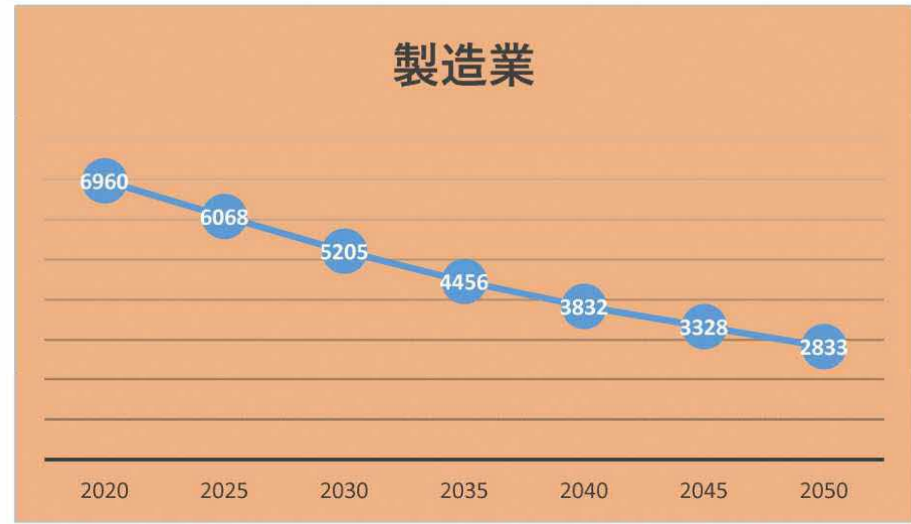
96.5%



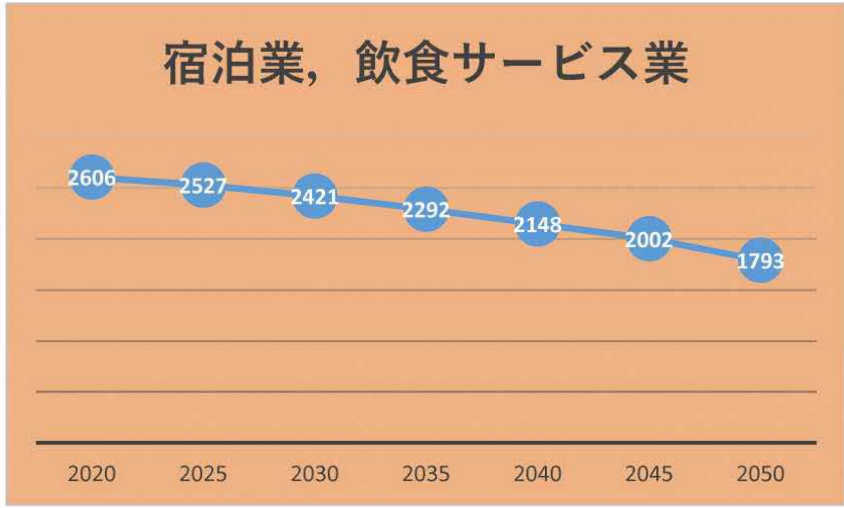
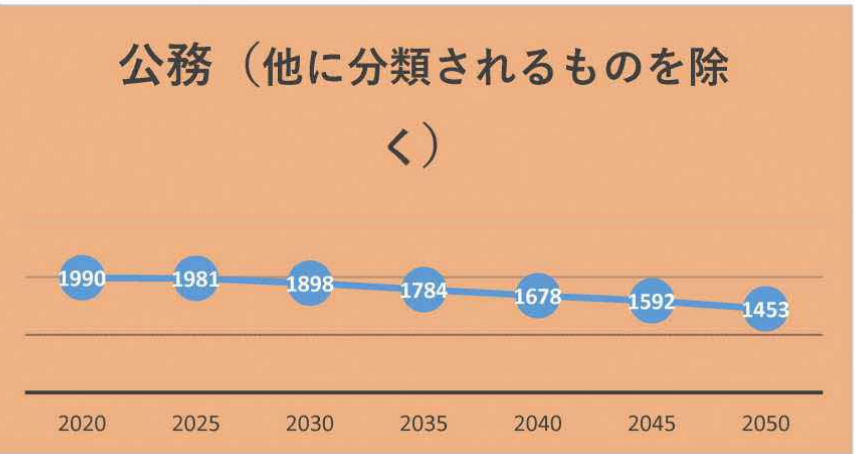
鳥取中部 教育学習支援業人口 2050/2020 97.9% 鳥取県 81.1%



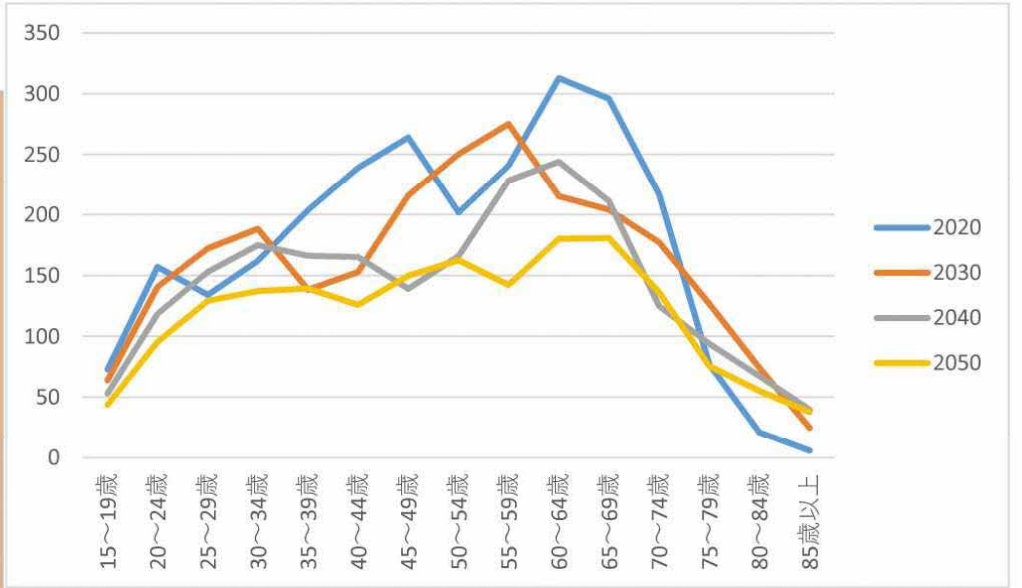
製造業人口 2050/2020 38.7% 鳥取県 42.3%

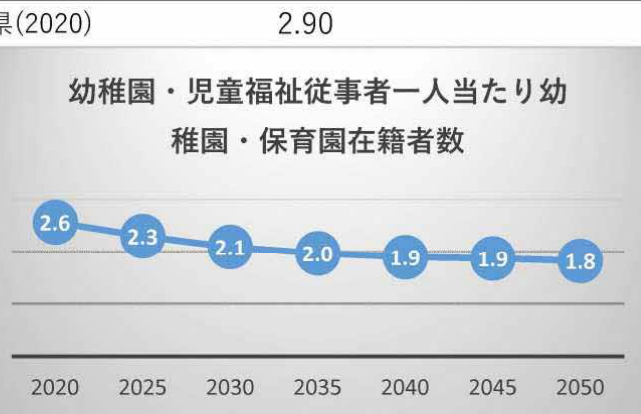
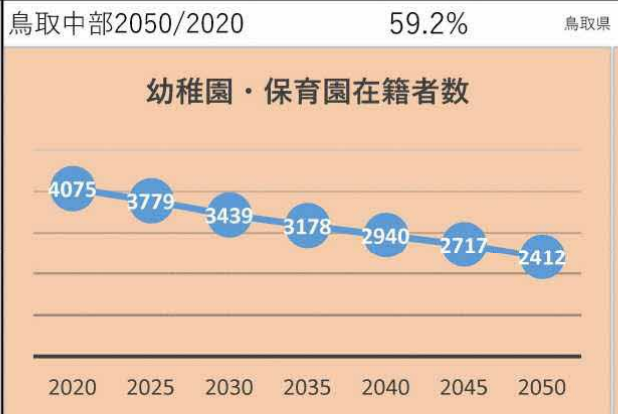


鳥取中部 公務人口 2050/2020 73.2% 鳥取県 82.4%

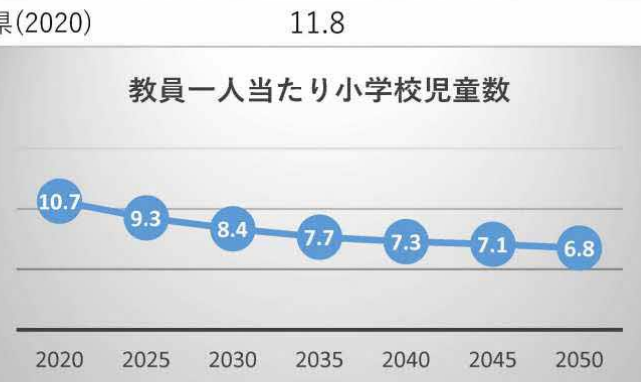
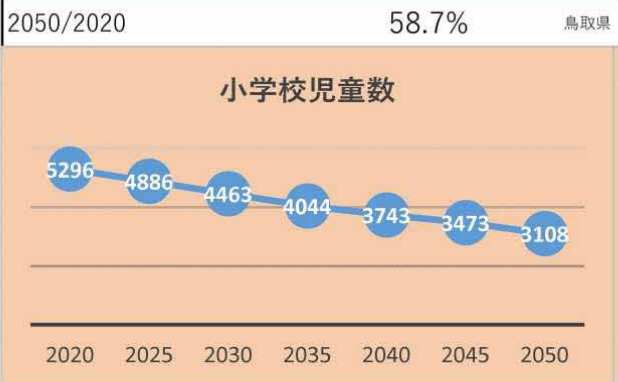


宿泊業、飲食サービス業人口 2050/2020 58.6% 鳥取県 74.2%

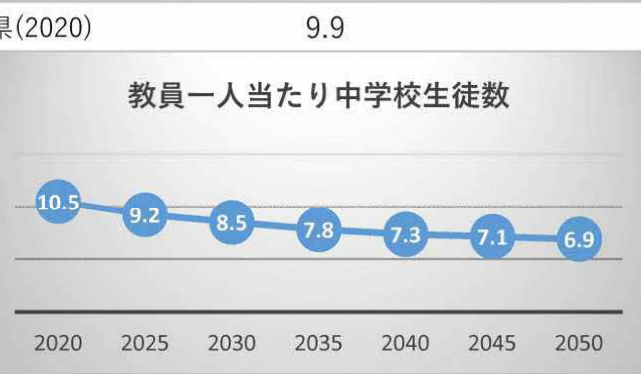




<保育園>保育対象児がすべて0歳児の場合保育士1人で最大3人、保育対象児の年齢が0から5歳まで均等に存在する場合、保育士1人あたり最大15.83人
 <幼稚園>1学級の幼児数は、35人以下が原則

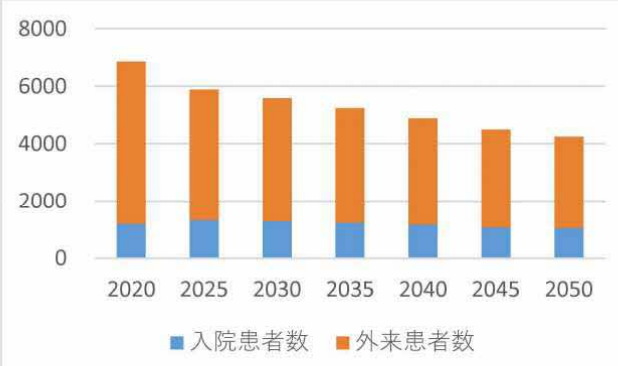


<小学校>同学年の児童で編制する学級(単式学級)は40人(1年生含む場合は35人)、2以上の学年の児童で編制する学級(複式学級)は16人(1年生含む場合は8人)、特別支援学級は8人が上限

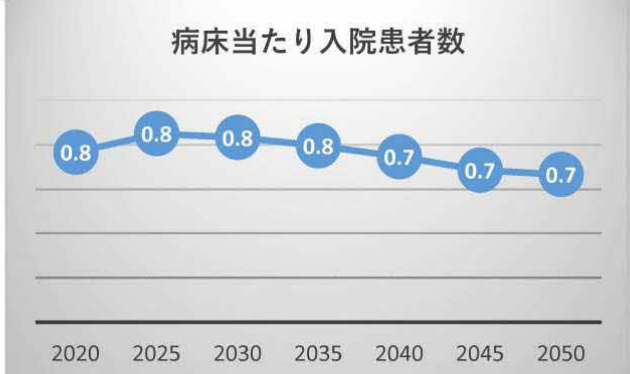


<中学校>同学年の児童で編制する学級(単式学級)は40人、2以上の学年の児童で編制する学級(複式学級)は8人、特別支援学級は8人が上限

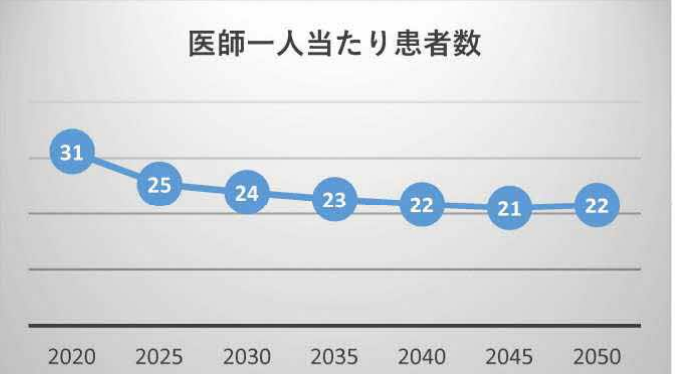
鳥取中部2050/2020 62.0% 鳥取県



78.0% 鳥取県(2020)

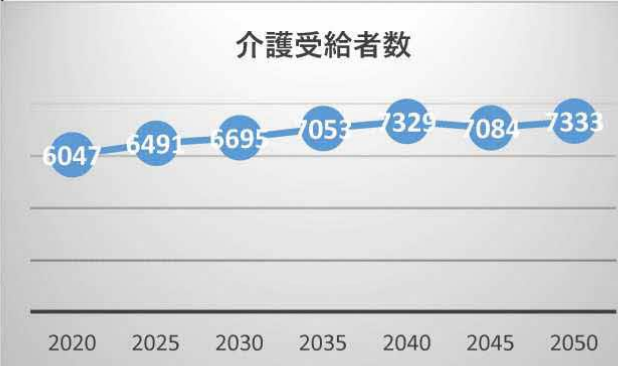


22.9

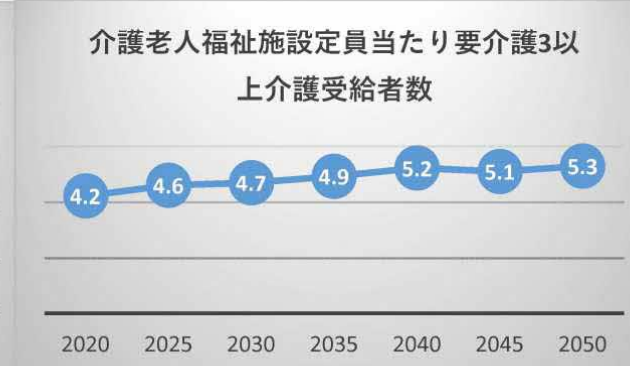


一般病院における病床区分別の人員配置標準は、一般病棟入院は患者16人に対して医師1人、療養病棟48人に対して1人、外来は40人に対して1人

2050/2020 121.3% 鳥取県



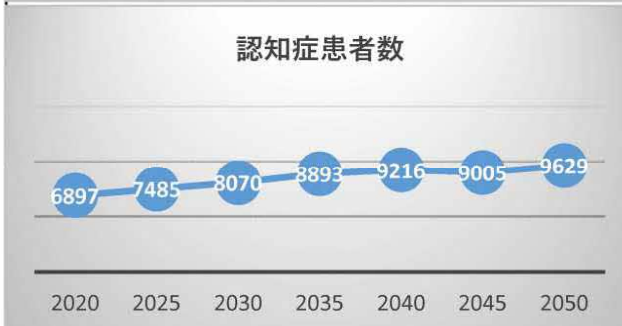
125.3% 鳥取県(2020)



3.3



介護老人保健施設に置くべき、看護・介護職員は入所者の数が3人（その端数を増すごと）に1人以上



2050/2020 139.6% 鳥取県 149.3%



鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和3年度取組成果】

政策分野	協定項目	成果指標		R2	R3	R4	R5	R6	備考：実績値の算定根拠・出典等	
医療	救急医療の充実	初期救急医療施設(休日急患診療所、小児・歯科休日急患診療所)の利用者数(人)	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500		
			実績	1,105	1,334					
	初期救急医療施設(平日夜間診療)の利用者数(人)	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		R2実績を0に修正	
		実績	0	0						
	思春期保健対策の推進	人工妊産中絶率(20歳未満)(%)	目標	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9		鳥取県人口動態調査からの出典。例年11月頃に公表(R3) ※増減要因：R2の中絶率の減については、コロナ禍で妊産届や出生届の総数が例年より大きく減少していることが考えられる。
			実績	3.7	-					
福祉	認知症に係る支援体制の整備	早期発見の取組達成率=(タッチパネル簡易検査を受けた人/65歳以上の高齢者数)×100(%)	目標	5	5	5	5	5		
			実績	4.95	3.08					
	中部成年後見支援センターで受けた相談件数	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000			
		実績	144	133						
	子育て支援体制の整備及び充実	病児・病後児保育の利用者数(人)	目標	700	700	700	700	700	委託契約実績報告書 病児 464(倉吉市 265、三朝町 59、湯梨浜町 61、琴浦町 26、北栄町 53) 病後児 92(倉吉市 62、三朝町 1、湯梨浜町 17、北栄町 12) ※増減要因：事業の性質上、利用者が特定される傾向にあるため、利用者の勤務形態、状況の変化により年度ごとに大きく変動する。 また、コロナ禍で日常的に感染症対策を実施されていることもあり、計画に対して疾病そのものの発生件数も減少していた。	
		実績	326	556						
	休日保育の利用者数(人)	目標	250	250	250	250	250	委託契約実績報告書 一時(休日)10人(倉吉市 14、三朝町 0、湯梨浜町 3、北栄町 1) 休日38人(倉吉市 22、三朝町 20、湯梨浜町 35、北栄町 114) ※増減要因：休日保育は事業の性質上、利用者が特定される傾向にあるため、利用者の勤務形態、状況の変化により年度ごとに大きく変動する		
		実績	357	414						
教育	鳥取県中部子ども支援センターの維持及び教育相談体制の充実	センター利用率=((センターに通う児童・生徒数+相談人数)/不登校児童・生徒数)×100(%)	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0		
		実績	41.1	49.0						
	学校復帰率=(学校復帰児童・生徒数/(センターに通う児童・生徒数+相談人数))×100(%)	目標	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0			
		実績	21.6	9.2						
	体育施設の維持及び強化	倉吉市富陸上競技場の公認大会の開催数(回)	目標	6	6	6	6	6		
		実績	7.0	3.0						
倉吉市富陸上競技場の利用者数(人)	目標	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000				
	実績	29,928	12,394							
産業振興	広域観光体制の充実及び強化による広域観光の推進	鳥取県中部エリアの観光入込客数	目標	2,180	2,288	2,396	2,500	2,611	鳥取中部観光推進機構エリア月別観光入込客数より抜粋	
		実績	2,577	2,392						
	企業誘致の推進	企業誘致の件数(件)	目標	2	2	2	2	2	令和3年度において、新規に市内に立地する企業はなかった。	
		実績	0	0						
	企業誘致による新規正規雇用者数(人)	目標	15	15	15	15	15		令和3年度において、新規に市内に立地する企業はなかったため、これによる新規雇用もなし。	
		実績	0	0						
消費生活相談窓口の体制整備	消費生活相談窓口の利用者数(各市町の消費生活に関する窓口相談件数含む)	目標	800	800	800	800	800			
	実績	761	709							

生活機能の強化

鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和3年度取組成果】

	政策分野	協定項目	成果指標	R2						備考：実績値の算定根拠・出典等
				R2	R3	R4	R5	R6		
結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	生活地域を一体化する公共交通ネットワークの充実	4 条路線の路線バスの収支率（%）＝経常収入÷経常経費	目標	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	170,255千円（日本交通94,752千円＋日ノ丸自動車75,503千円）÷528,470千円（日本交通259,397千円＋日ノ丸自動車269,073千円）＝0.322 【実績値が目標値を大きく下回った理由】新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことによる運送収入の減及び燃料等の高騰による運行経費増
			実績	35	32.2					
		バス利用者数割合（%）＝年間輸送人員（運行回数×平均乗車密度）÷地域人口	目標	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5		
		実績	8	7.7						
	地産地消	地産地消の推進	圏域内にある直売所の販売額(千円)	目標	1,374,000	1,374,000	1,374,000	1,374,000	1,374,000	
			実績	1,215,256	1,071,677					
		中部発！食のみやこフェスティバルの来場者数（人）	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000		
		実績	0	647						
	交流・移住	空き家バンクの連携等によるLJU(移住)の促進	圏域外から圏域内に移住した人数(人)	目標	500	500	500	500	500	「令和3年度鳥取県への移住者数(速報値)について」(R04.07.21鳥取県ふるさと人口政策課報道発表) 中部圏域移住者数：655人(倉吉市261人、三朝町33人、湯梨浜町105人、琴浦町151人、北栄町105人)
			実績	635	655					
		未婚・晩婚化の解消への取組の推進	婚活イベント、セミナー等の参加者同士の成婚組数(件)	目標	3	3	3	3	3	令和元年イベントでR2に結婚したカップルあり（R3把握） 令和2年度までの後追い調査で、イベントで成立したカップルの約7割が1度も余わずに終了してしまうことが判明。R3より、イベント終了後に次回約束をその場でしていただいている。
			婚活イベント、セミナー等の参加者同士のカップル成立割合(%)	目標	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	
その他		広報活動の連携による広域的な情報提供	圏域のケーブルテレビの加入率(%)	目標	71.0	74.0	74.3	74.7	75.0	
			実績	67.9	67.7					
化 圏域マニフェスト能力の強	人材育成、外部からの人材の確保、圏域内市町の職員等の交流	合同研修会に参加した市町職員等の人数(人)	目標	500	500	500	500	500	合同研修会に参加した職員の実数。 【下回った理由】計画では基礎研修と実践発表会(会場：未来中心)の2回開催を予定しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で基礎研修(オンライン)のみの開催となったため。	
			実績	0	133					
		人事交流の人数(人)	目標	-	-	-	-	-		
			実績	-	-	-	-	-		

鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和3年度決算額一覧】

政策分野	協定項目	具体的な事業	令和3年度予算額		令和3年度決算額 (単位：千円)						
			当初の計画 (圏域全体)	予算額 (圏域全体)	決算額 (圏域全体)	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	備考
ア. 医療	救急医療体制の充実	中部休日急患診療所、歯科休日急患診療所及び小児休日急患診療所運営事業	13,710	23,195	21,181	10,777	748	3,775	2,951	2,930	連合負担金
		病院群輪番制病院運営事業	8,454	8,454	8,454	4,301	299	1,507	1,178	1,169	連合負担金
	思春期保健対策の推進	思春期の心と体の健康教育事業	300	254	0	0	0	0	0	0	
イ. 福祉	認知症に係る支援体制の整備	認知症診断システム（認知症クリティカルパス）事業の運用	0	0	0	0	0	0	0	0	
		タッチパネル整備活用事業	25	10	10	10	0	0	0	0	
		若年性認知症専用デイサービスセンター設置運営事業	1,000	0	0	0	0	0	0	0	
		中部成年後見支援センター運営事業	5,000	6,202	6,201	3,370	579	809	685	758	
	子育て支援体制の整備及び充実	病児・病後児保育の活用	16,000	16,552	17,624	17,624	0	0	0	0	【病児】委託料 9,728 使用料及び賃借料ほか 224 【病後児】委託料 7,672
		休日保育の活用	500	500	736	736	0	0	0	0	委託料 736千円
	子育て支援事業の充実及び連携	0	0	0	0	0	0	0	0		
ウ. 教育	鳥取県中部子ども支援センターの維持及び教育相談体制の充実	鳥取県中部子ども支援センター運営事業	8,361	8,717	8,717	4,078	491	1,502	1,371	1,275	
		鳥取県中部子ども支援センター機能拡充検討事業	250	0	0	0	0	0	0	0	
	体育施設の機能の維持及び強化	体育施設機能調査・活用検討事業	0	3,987	3,958	3,958	0	0	0	0	倉吉市体育施設外定期点検業務及びびスポーツセンター外壁現況調査業務
		倉吉市営陸上競技場維持管理事業	6,000	40,906	2,970	2,970	0	0	0	0	市営陸上競技場トラック舗装等改修工事測量設計業務
生活機能の強化	鳥取中部観光推進機構支援事業		24,000	23,939	23,939	10,712	2,074	4,051	3,885	3,217	[倉吉市] 鳥取中部観光推進機構負担金 672、中部ふるさと広域連合負担金 (DMO) 10,040 [三朝町] 鳥取中部観光推進機構負担金 486、中部ふるさと広域連合負担金 (DMO) 1,588 [湯梨浜町] 鳥取中部観光推進機構負担金 531、中部ふるさと広域連合負担金 (DMO) 3,520 [琴浦町] 鳥取中部観光推進機構負担金 131、中部ふるさと広域連合負担金 (DMO) 3,754 (内国庫財源 1,877) [北栄町] 鳥取中部観光推進機構負担金 119、中部ふるさと広域連合負担金 (DMO) 3,098
		観光商品の開発強化・受入体制の充実等による観光推進事業	90,000	114,762	106,888	50,490	28,007	10,370	0	18,021	[倉吉市] 倉吉観光マイン協会補助金 34,800、琴櫻記念館運営事業 5,614、ポップカルチャーによる観光客等誘致促進事業 4,000、大山山麓・日野川流域観光推進協議会負担金 1,764、観光案内所運営業務委託 4,312 [三朝町] 観光協会経常経費補助金 19,910、観光協会通常事業費補助金 8,097 [湯梨浜町] 湯梨浜町観光協会補助金 10,370 [北栄町] 観光協会補助金 11,525、巨大迷路管理運営委託料 6,496
	広域観光体制の充実及び強化による広域観光の推進										
	観光情報発信・セールスプロモーション強化事業	29,000	36,657	19,046	55	4,026	658	14,051	256	[倉吉市] 空港での観光案内業務負担金 55 [三朝町] 観光客誘致対策推進費 1,301、キュリー祭 1,300、国内交流都市観光客誘致対策事業 55、外国人観光客誘致対策事業 842、日本遺産を活用した観光PR事業 528 [湯梨浜町] ワーケーション推進事業(Webサイト更新) 614、鳥取空港ターミナルビル案内委託料 44 [琴浦町] 観光窓口運営委託料 3,758、観光マーケティングインフラ構築委託料 7,998、感量コトウラフェス開催委託料 2,295 (内国庫財源 5,146) [北栄町] 鳥取空港ターミナルビル案内委託料 44、観光素材写真撮影委託料 212	
	農山漁村等での体験を通じた修学旅行誘致事業	3,000	3,100	3,075	3,075	0	0	0	0	0	[倉吉市] 農村型体験旅行推進事業費補助金 2,500、農村滞在型地域創生事業費補助金 575

鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和3年度決算額一覧】

	政策分野	協定項目	具体的な事業	令和3年度予算額		令和3年度決算額 (単位：千円)							
				当初の計画 (圏域全体)	予算額 (圏域全体)	決算額 (圏域全体)	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	備考	
結びつきやネットワークの強化			鳥取中部ウォーキングリゾート推進事業	6,000	3,130	1,489	0	0	41	1,178	270	[湯梨浜町] 「ONSENファストロミーウォーキングin湯梨浜町」事業費補助金 41 (新型コロナの影響により中止となったが、開催予定で準備していたために発生した費用) [琴浦町] グルメウォーク事業実施補助金 1,178 (内国庫0) [北栄町] ゆらまちウォーク謎解きARシステム制作等委託料 138、ゆらまちウォーク謎解きARシステム使用料 132	
			企業誘致の推進	圏域への企業誘致推進事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
				関西事務所を活用した圏域への企業誘致推進事業	326	198	0	0	0	0	0	0	
	オ. その他	消費生活相談窓口の体制整備	中部消費生活センター運営事業	5,198	8,163	8,163	3,750	747	1,268	1,224	1,174		
			消費生活に関する担当者研修及び啓発事業	1,283	987	561	220	20	85	39	197		
	ア. 地域公共交通	公共交通に係る効率的な運行体系の確立	鳥取県中部地域公共交通協議会運営事業	472	397	102	68	14	9	4	7		
			鳥取県中部地域公共交通網形成計画掲載事業	必要に応じて実施	14,584	16,081	484	13,882	0	1,243	472	バス停修繕、バスシェルター設置、再編実施事業	
		イ. 地産地消	地産地消の推進	地産地消拡大事業	20,000	11,154	6,377	332	70	148	144	5,683	
				空き家情報の連携事業	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ウ. 交流・移住	空き家バンクの連携等によるI・J・U(移住)の促進	田舎暮らし体験プログラムの連携・実施事業	666	401	0	0	0	0	0	0	
移住情報の発信事業				500	326	92	0	0	0	92	0		
未婚・晩婚化の解消への取組の推進				2,000	1,000	845	169	169	169	169	169	連合へ確認をお願いします	
エ. その他の連携	広報活動の連携による広域的な情報提供	0	0	0	0	0	0	0	0				
圏域マネジメント能力の強化	ア. 人材の育成・確保 イ. 圏域内市町の職員等の交流	合同研修会の開催・専門人材の確保及び活用・人事交流の実施	子育て支援に関わる職員等に対する合同研修会の開催事業	400	422	20	20	0	0	0	0		
			定住自立圏構想合同勉強会の開催事業	100	0	0	0	0	0	0	0		
			地方創生戦略勉強会の開催事業	100	0	0	0	0	0	0	0		
			人事交流の実施事業	-	0	0	0	0	0	0	0		
			中心市及び周辺町の取組に関する包括的財政措置	220,481	296,348	226,894	102,121	50,079	19,110	24,085	31,499		
個別の施策分野(医療)における財政措置	22,164	31,649	29,635	15,078	1,047	5,282	4,129	4,099					
合計	242,645	327,997	256,529	117,199	51,126	24,392	28,214	35,598					
懇談会	定住自立ビジョン懇談会運営経費	定住自立圏構想推進事業 (2.1.7.32.1)	-	0		67	0	0	0	0			

鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和4年度予算額一覧】

政策分野	協定項目	具体的な事業	令和4年度の事業費(予算額) (単位:千円)						備考	
			当初の計画 (圏域全体)	予算額 (圏域全体)	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町		北栄町
ア. 医療	救急医療体制の充実	中部休日急患診療所、歯科休日急患診療所及び小児休日急患診療所運営事業	13,710	23,155	12,217	1,059	3,501	2,420	3,958	
		病院群輪番制病院運営事業	8,454	8,454	4,007	579	1,581	1,116	1,171	
	思春期保健対策の推進	思春期の心と身体の健康教育事業	300	250	178	10	22	20	20	
イ. 福祉	認知症に係る支援体制の整備	認知症診断システム(認知症クリティカルパス)事業の運用	0	0	0	0	0	0	0	
		タッチパネル整備活用事業	25	10	10	0	0	0	0	
		若年性認知症専用デイサービスセンター設置運営事業	1,000	0	0	0	0	0	0	
		中部成年後見支援センター運営事業	5,000	6,203	3,369	556	821	671	786	
	子育て支援体制の整備及び充実	病児・病後児保育の活用	16,000	17,587	17,587	0	0	0	0	委託料17,367 建物借上料220
		休日保育の活用	500	500	500	0	0	0	0	一時預かり委託料のうち休日相当額を事業費計上
子育て支援事業の充実及び連携		0	0	0	0	0	0	0		
ウ. 教育	鳥取県中部子ども支援センターの維持及び教育相談体制の充実	鳥取県中部子ども支援センター運営事業	8,361	9,558	4,363	592	1,715	1,471	1,417	
		鳥取県中部子ども支援センター機能拡充検討事業	250	0	0	0	0	0	0	
	体育施設の機能の維持及び強化	体育施設機能調査・活用検討事業	0	777	777	0	0	0	0	体育施設外定期点検業務
		倉吉市営陸上競技場維持管理事業	6,000	51,249	51,249	0	0	0	0	市営陸上競技場トラック舗装等改修工事 市営陸上競技場第3種公認検定
生活機能の強化	広域観光体制の充実及び強化による広域観光の推進	鳥取中部観光推進機構支援事業	24,000	23,939	10,712	2,074	4,051	3,885	3,217	[倉吉市] 鳥取中部観光推進機構負担金 672、中部ふるさと広域連合負担金(DMO)10,040 [三朝町] 鳥取県中部観光推進機構負担金 486、中部ふるさと広域連合負担金(DMO)1,588 [湯梨浜町] 鳥取中部観光推進機構負担金 531、中部ふるさと広域連合負担金(DMO)3,520 [琴浦町] 鳥取中部観光推進機構負担金 131、中部ふるさと広域連合負担金(DMO)3,754 (内国庫財源 1,877) [北栄町] 鳥取中部観光推進機構負担金 119、中部ふるさと広域連合負担金(DMO)3,098
		観光商品の開発強化・受入体制の充実等による観光推進事業	90,000	119,262	46,550	37,448	14,797	1,100	19,367	[倉吉市] 倉吉観光マイス協会補助金 28,844、琴櫻記念館運営事業 5,614、ポップカルチャーによる観光客等誘致促進事業 4,000、スタンプラリー付きまんが王国満喫周遊バス事業費負担金 500、大山山麓・日野川流域観光推進協議会負担金 3,280、観光案内所運営業務委託 4,312 [三朝町] 観光協会補助金 36,848、観光商品造成支援事業補助金 600 [湯梨浜町] 観光協会補助金 10,481、ハワイアンフェスティバルハワイinゆりはま実行委員会補助金 4,316 [琴浦町] 琴浦町観光協会補助金 1,100(内国庫0) [北栄町] ・観光協会補助金 12,946千円 ・巨大迷路管理運営委託料 6,421千円
		観光情報発信・セールスプロモーション強化事業	29,000	17,040	55	9,501	1,009	5,100	1,375	[倉吉市] 空港での観光案内業務負担金 55 [三朝町] 観光客誘致対策推進費 2,080、キューリー祭 2,000、国内交流都市観光客誘致対策事業 1,371、外国人観光客誘致対策事業 2,400、日本遺産を活用した観光PR事業 1,650 [湯梨浜町] 鳥取空港ターミナルビル案内委託料 44、ワーケーション推進事業(Web更新) 765、観光宣伝広告費 200 [琴浦町] 観光窓口運営委託料 5,100(内国庫0) [北栄町] 特別旅費 1,119、鳥取空港ターミナルビル案内委託料 44、観光素材写真撮影委託料 212

鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン関係事業【令和4年度予算額一覧】

政策分野	協定項目	具体的な事業	令和4年度の事業費(予算額) (単位:千円)						備考		
			当初の計画 (圏域全体)	予算額 (圏域全体)	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町		北栄町	
		農山漁村等での体験を通じた修学旅行誘致事業	3,000	3,400	3,400	0	0	0	0	[倉吉市] 農村型体験旅行推進事業費補助金 2,500、農村滞在型地域創造事業費補助金 900	
		鳥取中部ウォーキングリゾート推進事業	6,000	3,102	0	0	1,682	1,178	242	[湯梨浜町] 「ガストロノミーウォーキングin湯梨浜町」事業費補助金 1,682 [琴浦町]グルメウォーク事業実施補助金 1,178(内国庫0) [北栄町] ゆらまちウォーク謎解きARシステム制作等委託料 110、ゆらまちウォーク謎解きARシステム使用料 132	
		圏域への企業誘致推進事業	0	0	0	0	0	0	0		
	企業誘致の推進	関西事務所を活用した圏域への企業誘致推進事業	326	198	198	0	0	0	0	[倉吉市] 関西事務所への倉吉市事務所の設置及び運営費 198	
		中部消費生活センター運営事業	5,198	8,084	3,653	728	1,317	1,231	1,155		
オ. その他	消費生活相談窓口の体制整備	消費生活に関する担当者研修及び啓発事業	1,283	904	446	20	136	40	262		
		鳥取県中部地域公共交通協議会運営事業	472	472	326	48	46	17	35	協議会負担金	
結びつきやネットワークの強化	ア. 地域公共交通	公共交通に係る効率的な運行体系の確立	鳥取県中部地域公共交通協議会運営事業	472	472	326	48	46	17	35	協議会負担金
		鳥取県中部地域公共交通網形成計画掲載事業	必要に応じて実施	800	500	100	100	100	0	バス停修繕等	
	イ. 地産地消	地産地消の推進	地産地消拡大事業	20,000	14,788	897	247	389	377	12,878	
			空き家情報の連携事業	0	0	0	0	0	0	0	
	ウ. 交流・移住	空き家バンクの連携等によるIJU(移住)の促進	田舎暮らし体験プログラムの連携・実施事業	666	304	0	0	304	0	0	
			移住情報の発信事業	500	332	56	86	64	66	60	
			未婚・晩婚化の解消への取組の推進	2,000	1,000	200	200	200	200	200	県補助金(補助金1/2限度額1,000千円) 鳥取県「結婚に向けた出会いの機会等創出事業補助金」 各市町負担金(1市4町均等割)
	エ. その他の連携	広報活動の連携による広域的な情報提供	中部圏域ケーブルテレビ活用研究会設置運営事業	0	0	0	0	0	0	0	
	圏域マネジメント能力の強化	ア. 人材の育成・確保 イ. 圏域内市町の職員等の交流	子育て支援に関わる職員等に対する合同研修会の開催事業	400	422	422	0	0	0	0	
			定住自立圏構想合同勉強会の開催事業	100	0	0	0	0	0	0	
地方創生戦略勉強会の開催事業			100	0	0	0	0	0	0		
人事交流の実施事業			-	0	-	-	-	-	-	-	
中心市及び周辺町の取組に関する包括的財政措置			220,481	280,181	145,448	51,610	26,653	15,456	41,014		
個別の施策分野(医療)における財政措置			22,164	31,609	16,224	1,638	5,082	3,536	5,129		
合計			242,645	311,790	161,672	53,248	31,735	18,992	46,143		
懇談会	定住自立ビジョン懇談会運営経費	定住自立圏構想推進事業(2.1.7.32.1)	-	275	275	0	0	0	0		

政策分野		生活機能の強化 工.産業振興					
協定項目		企業誘致の推進					
事業		関西事務所を活用した圏域への企業誘致推進事業					
事業概要		関西事務所との間で圏域の企業誘致の可能な土地、空工場等の情報及び企業訪問で得た情報を共有し、お互いに連携して、圏域への企業誘致を行います。					
関係市町の 役割分担	倉吉市	・圏域の企業誘致の可能な土地、空工場等の情報及び企業訪問で得た情報を関西事務所と共有し、お互いに連携して、圏域への企業誘致を行います。					
	三朝町 湯梨浜町 琴浦町 北栄町	・圏域の企業誘致の可能な土地、空工場等の情報及び企業訪問で得た情報を倉吉市関西事務所と共有し、お互いに連携して、圏域への企業誘致を行います。					
関係市町の事業費負担の 基本的な考え方		-					
活用を想定する補助制度等 (補助率等)		-					
概算事業費 (3次ビジョン)	年度別	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
	(千円)	326	326	326	326	326	1,630
倉吉市	予算額	326	198	198			722
	実績額	66	0				66
三朝町	予算額	0	0	0			0
	実績額	0	0				0
湯梨浜町	予算額	0	0	0			0
	実績額	0	0				0
琴浦町	予算額	0	0	0			0
	実績額	0	0				0
北栄町	予算額	0	0	0			0
	実績額	0	0				0
圏域全体	予算額	326	198	198	0	0	722
	実績額	66	0	0	0	0	66

政策分野	生活機能の強化 工.産業振興	
協定項目	企業誘致の推進	
事業	関西事務所を活用した圏域への企業誘致推進事業	
令和2年度	予定	【倉吉市】関西事務所への倉吉市事務所の設置及び運営費 【琴浦町】空工場等の情報を倉吉市を通じ情報提供し、圏域への企業誘致を図ります。 【三朝町】既存の補助制度に加え、事務所や工場など立地しようとする企業に対しての支援策を検討する。
	実績	【倉吉市】関西事務所への倉吉事務所の設置及び運営費 66千円
令和3年度	予定	【倉吉市】関西事務所への倉吉事務所の設置及び運営費 198千円
	実績	-
令和4年度	予定	【倉吉市】関西事務所への倉吉事務所の設置及び運営費 198千円
	実績	

工. 産業振興

◆ 広域観光体制の充実及び強化による広域観光の推進

(1) 取組の概要

【現状と課題】

鳥取西道路の開通を始めとする交通網の整備や情報化社会の進展により、観光客が行政区画の枠を超え、より多くの観光地を周遊し、さまざまな観光資源を楽しむ傾向が強くなっています。また、農林業などの田舎体験を修学旅行に希望する学校が増えています。

今後、鳥取中部への観光客や観光消費額を増やすためには、このような行動範囲の拡大や多様化する観光ニーズに対応した魅力ある広域観光ルートづくりなど、地域相互に魅力を補い、高め合うための広域的な連携が必要となっています。

また、外国人旅行者の増加に伴い、多言語による情報発信が求められています。



【取組の方針】

地域の魅力ある観光資源を広域的にネットワーク化する広域観光を推進し、観光客の行動範囲の拡大に対応するとともに、目的地として選択されるための訴求力の強化を図ります。

定住自立圏形成協定の規定の内容	
取組の内容	圏域における広域観光を推進するため、広域観光体制を充実し、及び強化し、観光資源の磨き上げとネットワーク化による観光事業の充実並びに観光情報の発信及びセールスプロモーションの強化を図る。
倉吉市(甲)の役割	① 一般社団法人鳥取中部観光推進機構に対する支援を充実し、広域観光体制の充実及び強化を図る。 ② 甲の区域にある観光資源の磨き上げを行い、(一社)鳥取中部観光推進機構に磨き上げた観光資源の情報を提供して、観光資源のネットワーク化を図る。 ③ (一社)鳥取中部観光推進機構と連携して、観光パンフレットの作成等による観光情報の発信及び宣伝活動等のセールスプロモーションの強化を行う。
関係町(乙)の役割	① (一社)鳥取中部観光推進機構に対する支援を充実し、広域観光体制の充実及び強化を図る。 ② 乙の区域にある観光資源の磨き上げを行い、(一社)鳥取中部観光推進機構に磨き上げた観光資源の情報を提供して、観光資源のネットワーク化を図る。 ③ (一社)鳥取中部観光推進機構と連携して、観光パンフレットの作成等による観光情報の発信及び宣伝活動等のセールスプロモーションの強化を行う。

【取組の成果（指標及び実績）】

ア. 指標

指標	鳥取県中部エリアの観光入込客数
----	-----------------

イ. 実績

成果の状況		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
指標	目標(千人)	2,180	2,288	2,396	2,500	2,611	
	実績(千人)						

(2) 具体的な事業

中略

事業名	鳥取中部ウォーキングリゾート推進事業						
内容	各市町でウォーキング環境の整備やウォーキングと食・温泉・自然・文化など地域資源を結び付けた活用のほか、共通ロゴを利用した圏域一体としての情報発信等に取り組むことで、「ウォーキングリゾート」としての地域ブランディングを図ります。						
関係市町及び役割分担	倉吉市	・ウォーキングと温泉、地域資源を活用した健康づくりに取り組み、市民や湯治客が往来する温泉地づくりの取り組みを推進します。「ウォーキングリゾート」のロゴを活用した情報発信等を行います。					
	三朝町 湯梨浜町 琴浦町 北栄町	・ウォーキングリゾートロゴを活用した環境整備、情報発信等を行います。地域の資源を活用したウォーキングイベント等を開催します。					
概算事業費	年度別 (千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000
実施期間	取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
	観光商品の 開発等						
活用を想定する補助制度等（補助率等）							
—							
関係市町の事業費負担の基本的な考え方							
<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市は、市の観光事業に必要な費用を負担します。 ・関係町は、町の観光事業に必要な費用を負担します。 							

今回追記する箇所

事業名	県立美術館を活用した広域周遊滞在型観光地創出事業						
内容	令和7年春に開館する鳥取県立美術館には県内外から年間約10万人の来館者が見込まれていることから、美術館と各市町における文化施設や観光資源の受け入れ環境を整備し連携させることで美術館を訪れた人を各市町へ誘客し、周遊滞在型観光地づくりを進めます。						
関係市町及び役割分担	倉吉市	美術館を訪れた人を隣接する倉吉未来中心、二十世紀梨記念館へ誘導するとともに白壁土蔵群、円形劇場くらしフィギュアミュージアム、小川家住宅などへの観光地へと誘客し周遊滞在型観光地を進めます。					
	三朝町 湯梨浜町 琴浦町 北栄町	美術館を訪れた人を各町の展示施設や観光地へと誘客するための取り組みを進めます。					
概算事業費	年度別 (千円)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	計
				10,000	100,000	100,000	210,000
実施期間	取組内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
	美術館周辺 環境整備事 業						
活用を想定する補助制度等（補助率等）							
—							
関係市町の事業費負担の基本的な考え方							
<ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市は、市の観光事業に必要な費用を負担します。 ・関係町は、町の観光事業に必要な費用を負担します。 							